

第2期第5回 帯広市産業振興会議次第

日時：平成24年6月11日（月）15:00～

場所：帯広市役所庁舎10階第6会議室

I. 会長あいさつ

II. 報 告

1. 帯広市中心市街地活性化基本計画について
2. とかちむら営業実績について

III. 協 議

1. 提言事業について（今後の進め方）

IV. その他

V. 閉 会

- 配付資料
- ・帯広市中心市街地活性化基本計画関連資料
 - ・とかちむら営業実績関連資料
 - ・帯広市産業振興ビジョン 事業シート評価について
 - ・ビジョン事業シート
 - ・平成24年度産業振興会議の進め方について（案）
 - ・第4回産業振興会議議事録要旨（案）



第1期帯広市中心市街地活性化基本計画の総括（概要）

1

第1期計画の期間・基本方針

○計画期間

平成19年8月～平成24年3月

○基本方針

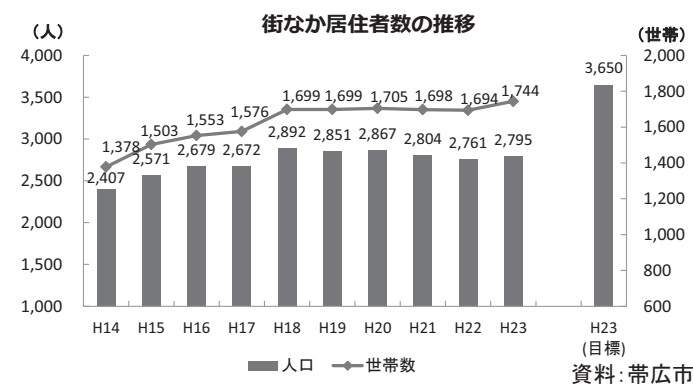
- 1) 居住環境の整備からコミュニティの再生へ
- 2) 散歩（そぞろ歩き）を楽しめる商店街へ
- 3) 文化に接する機会の提供から新たな人の流れへ

2

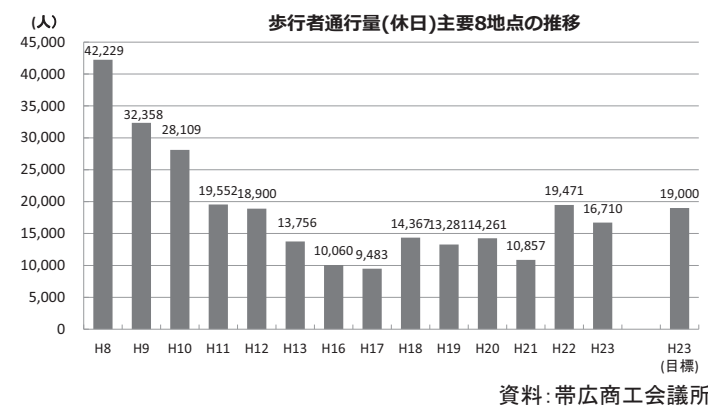
中心市街地の概況

中心市街地は、居住人口の減少、空き店舗の増加、歩行者通行量の伸び悩みなど、全体として中心市街地の活性化が進んでいる状況にはない。

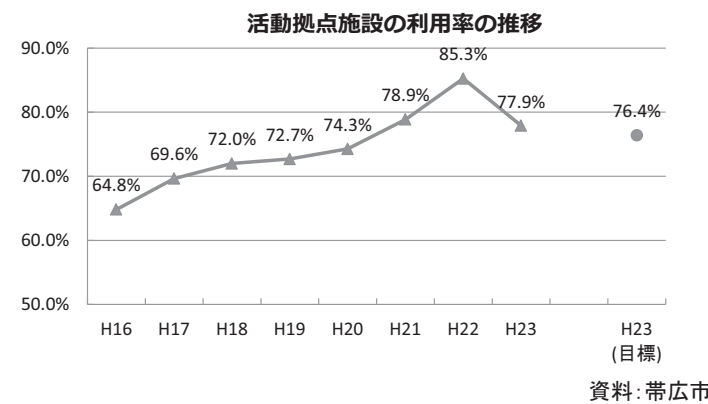
<参考> 指標の推移と分析



- ・居住者数は、平成18年までは増加傾向にあったが、平成23年では平成18年の値を下回っている。
- <全市との比較>
- ・高齢化率が25.7%で、2.5%高い。
- ・年少人口割合は9.2%で、3.5%低い。
- ・平均世帯人員は1.61人で、0.43人少ない。
- ・中心市街地は単身世帯と高齢者が多くなっていると考えられる。



- ・歩行者通行量は、平成17年に1万人を割ったが、平成18年以降、1万～2万人の間で推移している。
- ・これは、平成18年に開始された帯広まちなか歩行者天国の効果と考えられる。
- ・通行量の多い地域は、過去には西3条通であったが、現在は西2条通に変化している。



- ・活動拠点施設の利用率は、これまでほぼ一貫して増加傾向である。
- ・市民ギャラリーなど各施設の周知が浸透し、市民に定着してきたものと考えられる。
- ・平成23年の減少は、一部施設の改修工事などが影響している。

3

事業の進捗状況

基本計画の全26事業の進捗状況

実施済（完成・完了）7事業、実施中（着手）14事業、未実施5事業

事業名	実施状況	今後の方向性
1 開広団地再整備事業	一部着手（事業遅延）	継続
2 西3・14地区優良建築物等整備事業	未実施	断念
3 西1・5東地区優良建築物等整備事業	未実施	断念
4 福寿草プロジェクト	未実施	断念
5 広小路商店街アーケード再生等事業	H23年度完成	—
6 大規模小売店舗立地法の特例区域の設定の要請	H20年度実施	—
7 帯広まちなか歩行者天国事業	実施中	継続
8 市民ギャラリー整備事業	H20年度完成	—
9 まちなか居住プラットフォーム設置事業	実施中	継続
10 町内会加入促進事業	実施中	継続
11 自主防災組織の設立促進事業	実施中	継続
12 とかち花街道フェアinおびひろ	実施、H21年度終了	—
13 おびひろイルミネーションプロジェクト	実施中	継続
14 商店街活性化事業演出・催事実施事業	実施中	継続
15 第三期北の屋台事業	実施中	継続
16 広小路"町屋居住"演出事業	未実施	断念
17 広小路"歴史・文化"継承事業	H19～21年度実施	—
18 中城ふみ子が詠んだ街事業	未実施	見直し
19 クリーン・キャンバス・21	実施中	継続
20 平原のルキア	実施中	継続
21 商人塾事業	実施中	継続
22 おびひろまちづくりネットワーク	実施、H20年度終了	—
23 共通駐車券事業	実施中	継続
24 商店街歩道ロードヒーティング設置維持事業	実施中	継続
25 ウォーク&ライド事業	実施、H19年度終了	—
26 買物共通バス券事業	実施中	継続

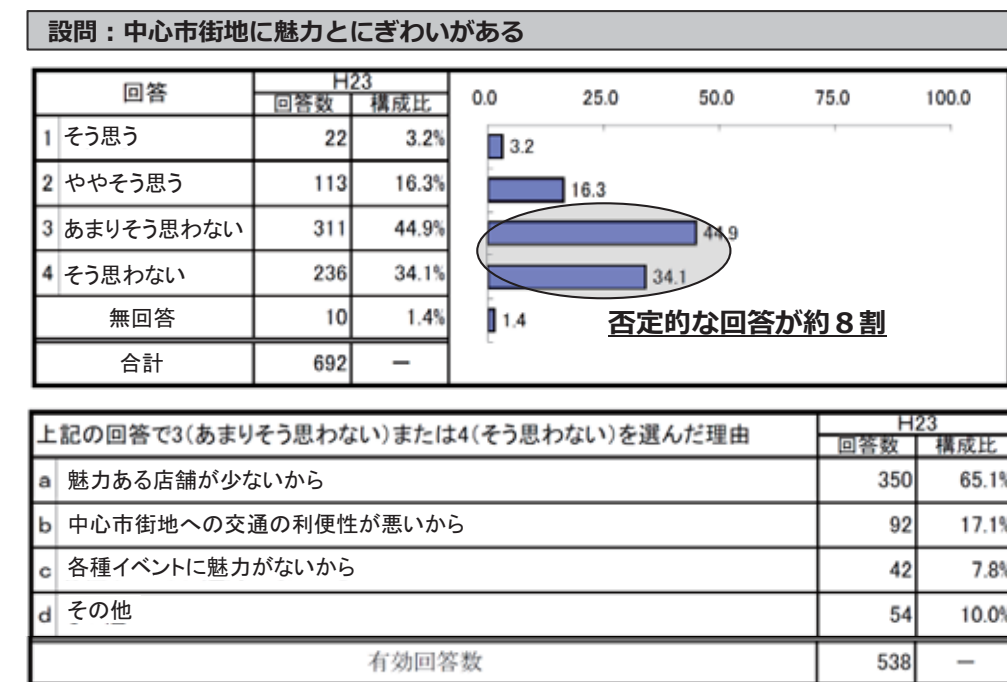
第1期帯広市中心市街地活性化基本計画の総括（概要）

4 計画の達成状況

目 標	指 標	基準値 (H18)	目標値 (H23)	実績値 (H23)	達成 状況
住実ゾーン の形成	街なか 居住者数	2,892人	3,650人	2,795人	C
		目標値、基準値ともに下回った。			
買適ゾーン の形成	歩行者通行量	14,367人	19,000人	16,710人	B
		基準値を上回ったが、目標値を下回った。			
観動ゾーン の形成	活動拠点施設 の利用率	72.0%	76.4%	77.9%	A
		目標値を上回った。			

A（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。）
a（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。）
B（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値は超えることができたが、目標値には及ばず。）
b（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。）
C（計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。）
c（計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。）

5 アンケート結果



※平成23年度市民まちづくりアンケート（帯広市）

・市民アンケートでは、否定的な回答が80%近くを占めた。

・否定的な回答の理由については、「魅力ある店舗が少ない」という回答が約3分の2を占めている。

設問：（ここ数年）帯広の“まちなか”をどのように感じるか

項 目	件 数	割 合
①賑わっている	2	2.20%
②変わらない	57	64.10%
③衰退している	30	33.70%
合 計	89	100.00%

・中心市街地の商業者に対するアンケートでは、ここ数年で“まちなか”が衰退しているとの回答が約3分の1で、賑わっているという回答はわずか2件だった。

設問：“まちなか”の商業が活性化しない理由

項 目	件 数	割 合
①核となる店舗がない	7	23.30%
②商店街の店舗構成が顧客のニーズに合わない	7	23.30%
③賃料が高い	5	16.70%
④活性化に意欲のある店舗が少ない	2	6.70%
⑤車社会への対応の遅れ（駐車場不足）	2	6.70%
⑥空き店舗による連続性の欠如	2	6.70%
⑦通信販売、インターネット販売等の普及	2	6.70%
⑧店主の高齢化	1	3.30%
⑨郊外店との競合	1	3.30%
⑩その他	1	3.30%
⑪中心市街地の人口が少ない	0	—
合 計	30	100.00%

・商業が活性化しない理由として、「核となる店舗がない」「商店街の店舗構成が顧客のニーズに合わない」などがあがった。

設問：“まちなか”に必要な活性化策はどのような取り組みか

項 目	件 数	割 合
①個店の魅力向上	43	17.60%
②居住人口増	41	16.70%
③大型店の誘致	31	12.70%
④イベントの充実	28	11.40%
⑤交通拠点づくり	24	9.80%
⑥公共施設の新設	22	9.00%
⑦駐車場の割引	18	7.30%
⑧企業誘致	18	7.30%
⑨街並み整備	7	2.90%
⑩その他	7	2.90%
⑪公共交通の充実	6	2.40%
合 計	245	100.00%

※中心市街地における活性化事業に関する意識調査報告書（帯広商工会議所、平成23年度）

・必要な活性化策としては、「個店の魅力向上」「居住人口増」「大型店の誘致」が多い。

・市民、商業者の多くは、中心市街地に魅力やにぎわいがあると感じておらず、今後、個店の魅力向上や、居住人口の増が必要である。



第1期帯広市中心市街地活性化基本計画の総括（概要）

6

計画が達成できなかった背景と結果

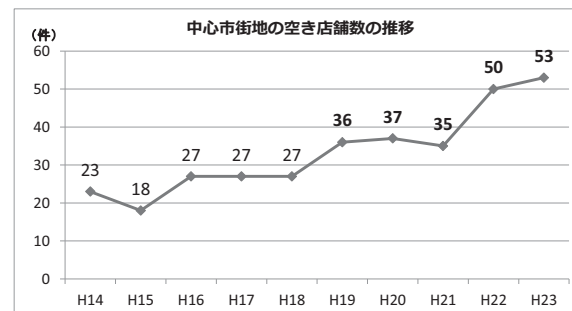
（1）背景

- ・リーマンショック発生後の世界的な経済情勢の悪化
- ・円高・デフレによる国内の消費活動の低迷と長期化
- ・公共事業の減少に伴う厳しい雇用環境
- ・民間事業者の経営環境の変化や事業収支の悪化による土地利用の更新停滞など

景気の低迷

（2）結果

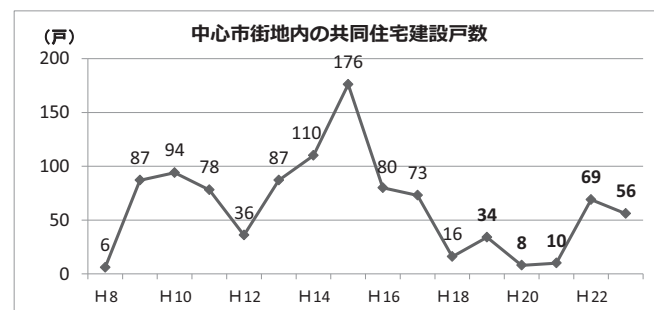
①空き店舗数が増加（平成19年36店舗→平成23年53店舗）



※中心市街地の商店街区域について帯広市が調査したもの（各年7月現在）

②共同住宅建設戸数が減少

（計画期間5ヵ年（平成19～平成23年度）の年平均建設戸数…予定65戸に対し実績35戸）



※帯広市調査

③商店街区域の平面駐車場化（平成19年40か所→平成23年44か所）

④郊外への大型小売店舗の出店（5店舗 面積計約23,000㎡）

⑤市営駐車場の利用台数が減少（平成19年度515,559台→平成23年度493,541台）

⑥その他

- ・ネットショッピングなどによる購買形態の多様化
- ・個店の魅力不足

7

中心市街地活性化協議会の意見

- ・全26事業のうち、特に居住系ハード事業の未着手が顕著である。
- ・これは、地域の経済状況の低迷から消費力が低下したことによるものである。
- ・活性化区域外ではあるが、周辺でのマンション建設などの動向があるなど、投資意欲は回復傾向である。
- ・帯広まちなか歩行者天国などのソフト事業が、にぎわいの創出に貢献している。
- ・街なか居住に対する取組と同時に、顧客ニーズに応える街なかの魅力づくりが重要である。
- ・中心市街地においても、地域の強みである第1次産業を生かした取組が必要である。

8

今後の方向性

今後は、商業者自らの創意・工夫により、これまで以上に当事者意識を持ち、関係者が連携して取組を進めることが重要である。

○誰もが住みやすい居住施設の整備

- ・定住と人口増に資する居住系ハード施設の整備を図る
- ・介護、医療等居住支援施設の整備を図るなど

○顧客ニーズに応える街なかの魅力づくり

- ・商品、サービスが魅力的な個店づくりを図る
- ・高齢者や子育て世代が訪れやすい個店づくりを図る
- ・若者向けの娯楽、サービスの提供を行う
- ・ネット社会に対応した各店舗の事業展開を行うなど

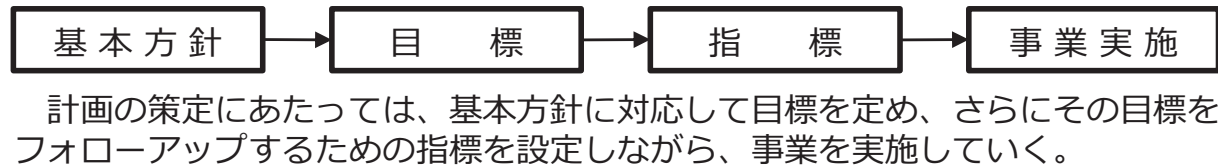
○来街機会＝にぎわいの創出

- ・高齢者おでかけサポートバス事業による来街者の増加を促す
- ・高齢者の来街機会の拡大を図る
- ・道東自動車道の全通を活用した来街者の増加を促す
- ・ターゲットを明確にした来街機会の創出を図るなど

中心市街地の活性化が計画通りには進んでいない

第2期帯広市中心市街地活性化基本計画の骨子案 (概要)

1 計画策定にあたって



2 計画策定の背景

- ・1期計画に位置付けた事業で継続すべきものが多い
- ・居住施設を整備し、にぎわいの衰退を解決する
- ・中心市街地活性化の取組を間断なく続けていく必要がある

3 関係法及び期間

- ・関係法：「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく認定申請
- ・計画期間：平成24年度～平成28年度（5年間）

4 区域

面積140ha（前計画の面積と同じ）

- 〔中心市街地の境界〕
- ・東端界：大通り東仲通り（国道236号線）
 - ・西端界：西5条西仲通りと一級河川十勝川水系ウツバツ川
 - ・南端界：南16丁目線とJR根室本線
 - ・北端界：南4丁目線



5 基本方針

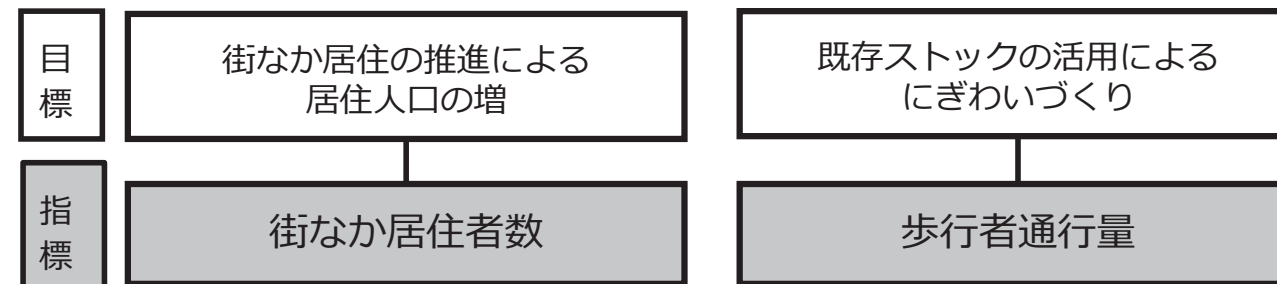
地域が発展し、豊かな暮らしを支えるためには、経済基盤が安定していることが必要である。すでに集積している中心市街地の社会資本ストックを有効活用し、民間活力を中心にして中心市街地の活性化を図る。

- a) 街なか居住の促進
- b) 街なかの魅力づくり
- c) 街なかにぎわいの創出

➡ 中心市街地の再生

6 目標及び指標

本基本計画における3つの基本方針に対応して、2つの目標を設定。



※目標値は、総合計画の目標値を踏まえながら、今後の国との協議、計画の事業構成の検討などによって決定。

7 想定する主な事業

事業名	事業の位置付け	基本方針との対応
1 開広団地再整備事業	継続	a,b,c
2 旧北洋ビル跡地整備事業	新規	a,b,c
3 広小路アーケードを活用した集客・回遊・滞留事業	新規	b,c
4 帯広まちなか歩行者天国事業	継続	c
5 おびひろイルミネーションプロジェクト	継続	c
6 商店街活性化事業演出・催事実施事業	継続	b,c
7 帯広電信通り商店街活性化事業	新規	b,c
8 北の屋台事業	継続	b,c
9 自慢の逸品事業	新規	b
10 駅北多目的広場活用事業（まちなか朝市）	新規	c

8 今後の策定予定スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降
国	計画認定に向けた協議					国の認定
員会（産経委）	骨子説明	原案説明	パブコメ案報告			
帯広市	骨子案	原案	パブコメ		認定申請	※認定申請及び認定の時期は、国との協議による
中活協議会	新中活事業の検討、新中活計画の審議				意見	

ばんえい十勝にぎわい創出プロジェクト
「とがちむら」

営業実績報告レポート(その一)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年5月9日

SPCとがちむら株式会社

現況およびイベント時写真	-----	2
施設配置図	-----	3
平成23年度実績	-----	4
売上実績	-----	4
平成23年度イベント実施・販促活動実績	-----	6
平成23年度を振り返っての問題点	-----	8
平成24年度運営計画	-----	9
平成24年度の運営方針	-----	9
平成24年度販促計画（イベントカレンダー）	-----	10

入口付近(23年7月)



「アスパラ無料配布」(平成23年6月)



「ジャズナイト」(平成23年7月)



「生産者トークライブ」(平成24年4月)



「フラダンス実演」(平成23年6月)



メインストリート(平成23年5月)



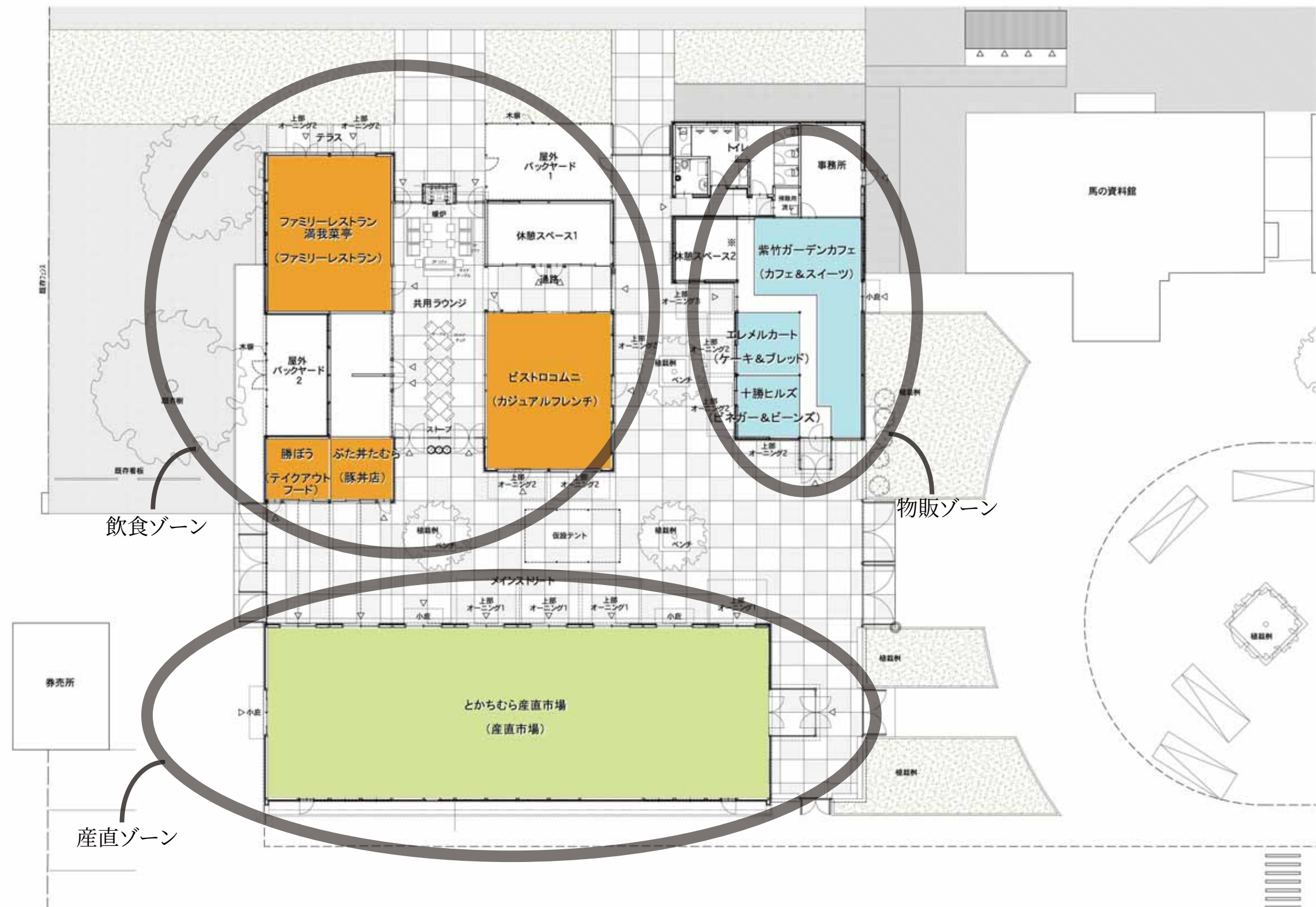
キッチン棟共用ラウンジ(平成23年7月)



産直市場店内(平成23年5月)



■「とがちむら」店舗配置(平成24年3月時点)



■売上実績①

【実績】（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

年間売上金額 168,105,028円
年間来場者数 335,371人
施設内雇用者数 37人
店舗数 8店舗

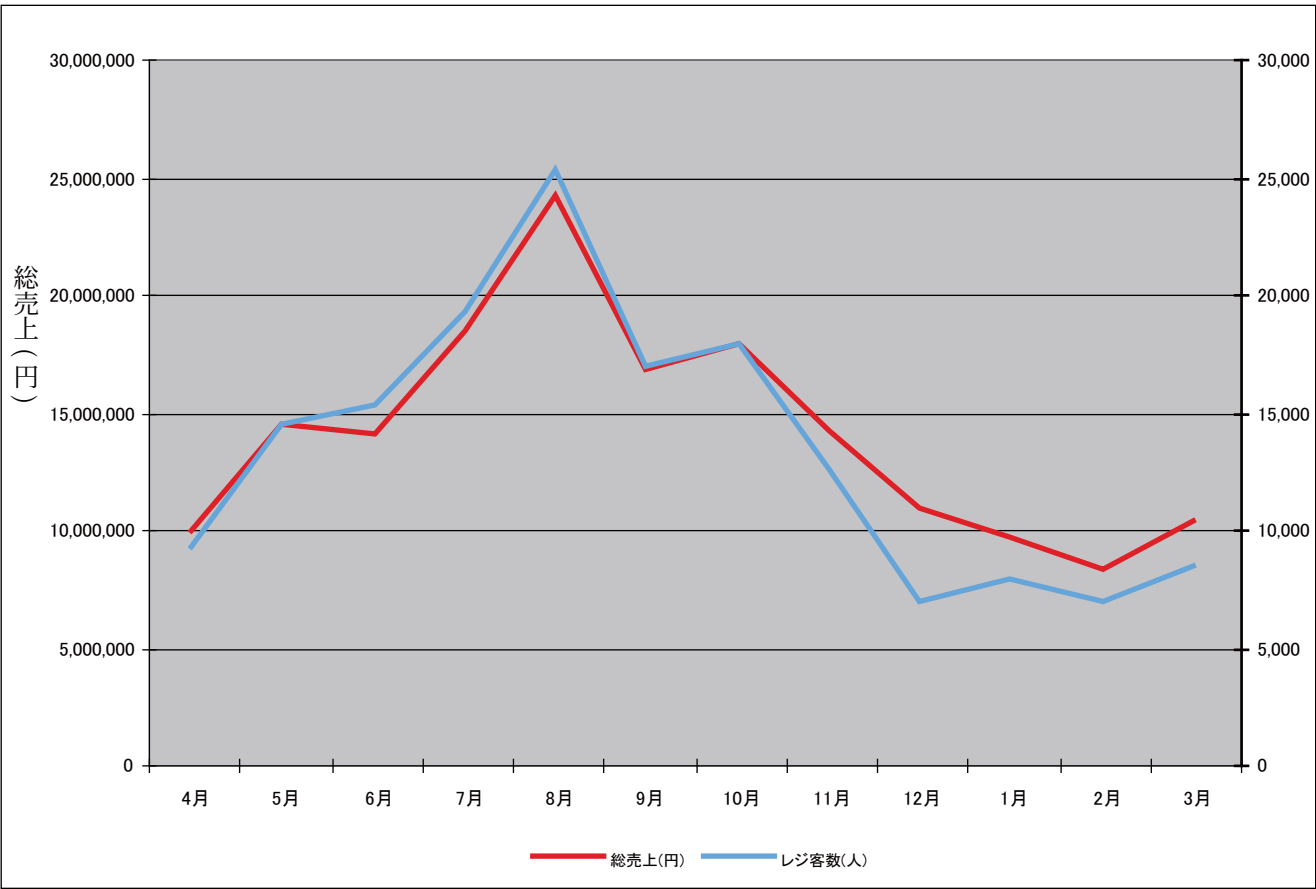
- ・産直ゾーン[1店舗] 年間売上金額 83,024,414円
- ・飲食ゾーン[4店舗] 年間売上金額 58,778,387円
- ・物販ゾーン[3店舗] 年間売上金額 26,302,227円

	レジ客数(人)		総売上(円)		客単価(円)
	総数	1日平均	総数	1日平均	1日平均
4月	9,195	307	9,862,093	328,736	1,073
5月	14,333	462	14,424,506	465,307	1,006
6月	15,187	506	13,955,701	465,190	919
7月	19,172	618	18,307,565	590,567	955
8月	25,256	815	24,051,269	775,847	952
9月	16,915	564	16,749,586	558,320	990
10月	17,742	572	17,761,106	572,939	1,001
11月	12,402	413	14,172,960	472,432	1,143
12月	6,789	219	10,820,900	349,061	1,594
1月	7,752	250	9,580,813	309,058	1,236
2月	6,862	237	8,172,854	281,823	1,191
3月	8,379	270	10,245,675	330,506	1,223
平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	159,984	437	168,105,028	459,303	1,051

◆ 月別実績

○ 傾向

- ・冬期（12月～3月）のレジ客数、売上がともに低迷している。
- ・競馬の人気レースのない月（12月、2月）の売上が低迷している。
- ・客単価については、夏期の方が低額になる傾向がある。



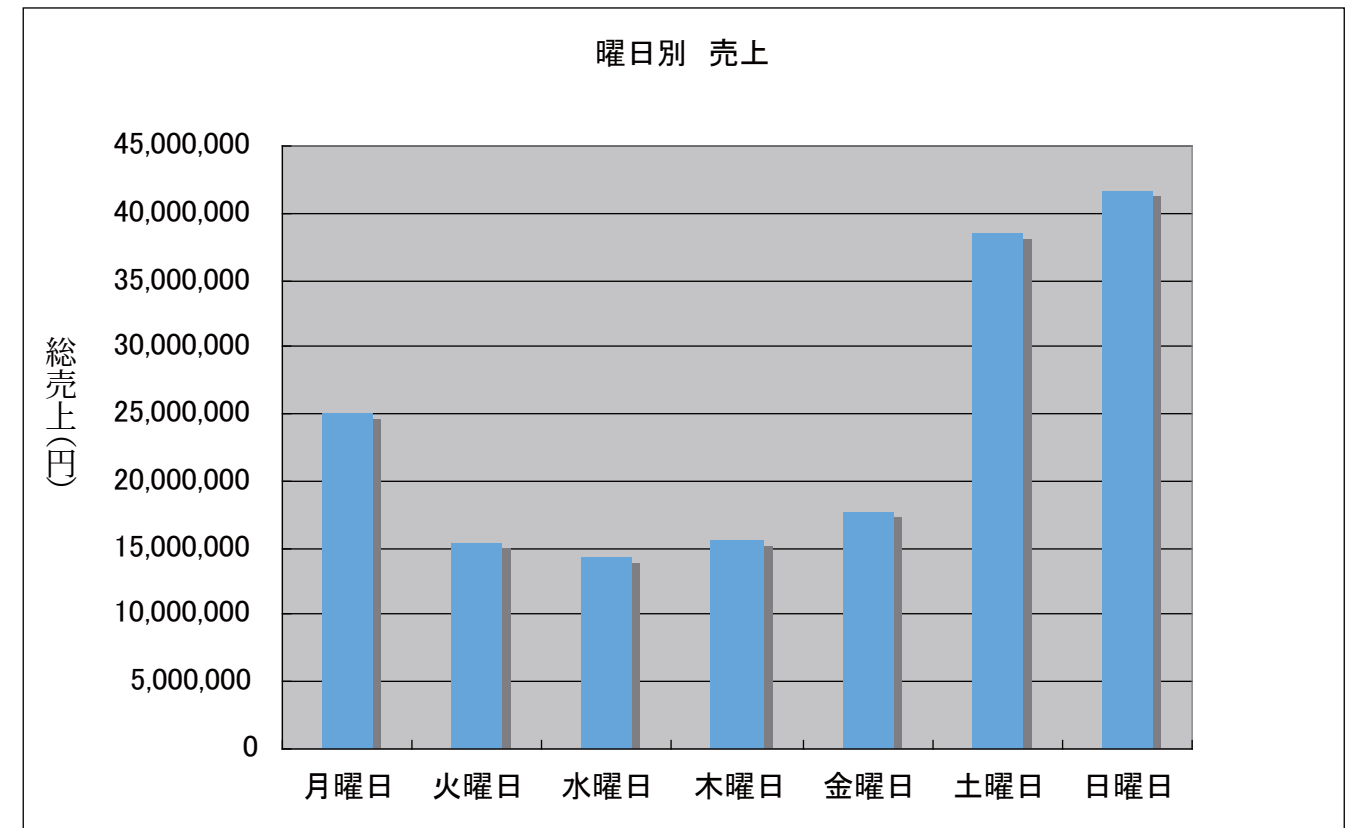
■売上実績②

◆ 曜日別実績

○ 傾向

- ・ 週末（土曜日・日曜日）は他の曜日と比べて、レジ客数・総売上がともに大きく増加している。
- ・ 平日の中では月曜日が最も数値が高く、水曜日に比べて2倍近くのレジ客数・総売上が記録している。
- ・ 水曜日が他の平日と比べて最も数値が低い。

	日数	レジ客数(人)		総売上(円)		客単価(円)
		総数	1日平均	総数	1日平均	1日平均
月曜日	52	23,455	451	24,939,842	479,612	1,063
火曜日	52	13,936	268	15,352,645	295,243	1,102
水曜日	52	12,503	240	14,290,307	274,814	1,143
木曜日	52	13,682	263	15,638,228	300,735	1,143
金曜日	53	14,870	281	17,713,713	334,221	1,191
土曜日	53	37,957	716	38,577,935	727,886	1,016
日曜日	52	43,581	838	41,592,358	799,853	954
平成23年4月1日～ 平成24年3月31日		159,984	437	168,105,028	459,303	1,051



■ 「とがちむら」平成23年度イベント実施・販促活動実績①

●期間： 平成23年4月～平成23年10月

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
4月		
1日(金)～		・雑誌「北海道の歩き方」広告
1日(金)～30日(土)		・OCTVテレビ 3分CM(1日1回)
2日(土)・3日(日) 16日(土)・17日(日)	・寿司 & 串まつり(炉ばたと見え)	
2日(土)・3日(日)	・サラダフェア(産直市場)	
5日(火)	・手作りピザ教室(ピザラバンバ)	
9日(土)・10日(日)	・ご当地野菜フェア(産直市場)	
14日(木)	・春の花束づくり講習会(フルールドやまざき)	
16日(土)・17日(日)	・チーズ&牛乳フェア(産直市場)	
17日(日)	・チョコレートファウンテン	
18日(月)	・とがち青空レディ認証式・引継式	
23日(土)・24日(日)	・野菜苗販売フェア(産直市場)	
26日(火)		・雑誌「Chai」5月号 1ページ広告
29日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
5月		
3日(火)～5日(木)	・チョコレートファウンテン	
6日(金)	・とがちむらジャズナイト	
7日(土)・8日(日)	・スタンプラリー	
21日(土)～6月5日(日)	・アスパラフェア(産直市場) ・アスパラ料理フェア	
25日(火)		・雑誌「Chai」6月号 1ページ広告
27日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
28日(土)・29日(日)	・方言あてクイズゲーム	
6月		
4日(土)	・フラダンス実演 ・アスパラ無料配布	
9日(木)	・とがちむらジャズナイト	
10日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
11日(土)・12日(日)	・とがちむらこどもフェスタ (ひまわり種植え体験、親子クイズラリー、 縁日)	
19日(日)	・チョコレートファウンテン	
26日(火)		・雑誌「Chai」7月号 1ページ広告
7月		
1日(金)～		・雑誌「まんぶく十勝」1ページ広告
1日(金)～31日(日)	・産直野菜&とがちマッシュの料理フェア	
1日(金)		・十勝毎日新聞 半5段広告
2日(土)・3日(日) 9日(土)・10日(日) 17日(日) 24日(日) 31日(日)	・産直朝市	
9日(土)・10日(日)	・こどもビンゴゲーム	
9日(土)	・バンド生演奏	
14日(木)	・とがちむらジャズナイト	
24日(日)	・ヘンプマルシェ(麻製品見本市) ・麻メニュー対応	
26日(火)		・雑誌「Chai」8月号 1ページ広告
31日(日)		・十勝毎日新聞 半3段広告

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
8月		
	施設イメージ写真撮影会	
	七夕フェア	
9月		
7(水)		・OCTVテレビ 市役所視察の同行取材
8(木)	ジャズナイト	
9(金)		・トヨタ会員向け冊子取材
10(土)		・HBCテレビ「道民カレッジ 北海道の馬」
10(土)		・中国雑誌社 食の取材
14(水)		・OCTVテレビ「がぶっと十勝」 テイクアウト特集 勝ぼう取材
15(木)		・道新 十勝人 長尾さん取材
17(土)～18(月・祝)	(競馬場 ばんえい十勝ふわふわランド)	
17(土)～18(月・祝)	親子体験フェア ニーズファーム モッツアレラづくり ペーパークラフト教室(ハロウィンの飾りづくり)	
18(日)	Chaiにのつちやいましたvol.2(チビッコ撮影会)	
22(木)		・勝毎 新聞広告(秋の収穫祭)
23(金・祝)～25(日)	秋の収穫祭	
24(土)	小麦フェア(ラバンバ・ジラソーレ)	・勝毎 記事(小麦フェア)
26(月)		・Chai発行
29(木)		・MJ中国雑誌社 & ツアー会社 取材
30(金)	アコースティックナイト	
10月		
1(土)2(火)8(土)9(日)	ジョブちゃれ	
10(月・祝)	とがちむらダンスサミット	
10(月・祝)	(競馬場 ゆるキャライベント)	
13(木)	ジャズナイト	
15(土)16(日)	北海道米食べ比べキャラバン&日清北の焼きそば試食会	
17(月)		・札幌ビールHP掲載取材(札幌ビール支社長が来村)
22(土)23(日)	ベジタブルビューティ&ヘルシーディナー(ジラソーレ、十勝ヒルズ)	
22(土)～31(月)	とがちむらハロウィンパーティ	
24(月)		・ひるブラ生中継
24(月)		・Chai発行
26(水)27(木)	(競馬場 大地のファンファーレ エキストラ撮影)	
29(土)	(競馬場 道東道開通花火大会)	
30(日)	十勝産ししゃも試食 & 即売会	

■ 「とちまちむら」平成23年度イベント実施・販促活動実績②

●期間： 平成23年11月～平成24年3月

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
11月		
1(火)	大地のファンファーレ エキストラ撮影	
3(木・祝)	サッポロビール ノンアルコールビールサンプリング	・FMJAGAサンプリングイベント生中継
11/5(土)～7(月)	十勝の味覚フェア(クラブツーリズム向け)	
5(土)		・STVラジオ「日高晤郎ショー」中継コーナー生中継
7(月)		TVH「北海道DAISUKI」取材(11/26放送)
10(木)	ジャズナイト	
10(木)	ワンコインセミナー女性のためのマネー講座	
16(水)		・じゃらん北海道 新春号 取材
18(金)		・Chai発行
19(土)	農業本気塾実演販売	
20(日)	アイドルマスター記念フェア	
23(水・祝)～12/2(金)	学生写真コンクール展示	
24(木)	ワンコインセミナー クリスマスリース作り	
25(金)～12/18(日)		
25(金)	生産者トークライブvol.1 農業本気塾	
26(土)		・道新&勝毎 生産者トークライブ記事掲載
12月		
1(木)～23(金・祝)	とちまちむら歳末ジャンボくじ	
1(木)～25(土)	クリスマスフェア	
1(木)	ワンコインセミナー お正月飾り作り	
3(土)	十勝ワインヌーボーパーティ	
4(日)	イルミネーション点灯式	
5(月)		・道新&勝毎 イルミネーション点灯式記事掲載
8(木)	ジャズナイト	
8(木)	ワンコインセミナー女性のためのマネー講座	
20(火)		・じゃらん北海道 新春号 発行
23(金・祝)		・新千歳空港TV 撮影
23(金・祝)		・勝毎 シーニックQRラリー取材
26(月)		・Chai発行
1月		
1(水)		・FMウイング ばんえい特集
1(木・祝)～5(木)	新春初売り	
2(月・祝)	新春出染式	
8(金)～15(日)	新成人フェア	
6(金)		・北海道新聞朝刊「生産者トークライブ」記事掲載
6(金)		・FM JAGA 中継コーナー(10分間)
12(木)	ジャズナイト	
18(月)～2/14(火)	バレンタインフェア	
18(水)		・FM JAGA 産直市場出演
20(金)	ワンコインマネー講座	
20(金)	アコースティックナイト	
20(金)		・NHK「つながる@とちまちカフェ」アコースティックナイト取材
20(金)		・NHK 夕方のニュース 今週末のイベント情報で「生産者トークライブ」の告知
22(日)	生産者トークライブvol.2	
23(月)		・勝毎「生産者トークライブ」記事掲載
24(火)		・道新「生産者トークライブ」記事掲載
24(火)		・Chai発行
27(金)	バレンタインケーキ講座	
27(金)～30(日)	氷祭り会場へのバス発着	
30(月)		・勝毎「かちモバ バレンタイン川柳募集開始」記事掲載
30(月)		・NHK「つながる@とちまちカフェ」アコースティックナイト取材

実施日	実施イベント	広告宣伝等 販促活動
2月		
2(木)		・道新取材(地元集客)
3(金)		・勝毎取材(満我菜亭すべり台、雪像)
3(金)		・FMJAGA生放送10分間(満我菜亭すべり台、雪像)
5(日)		・勝毎「満我菜亭滑り台」記事掲載
6(月)	バレンタインのための手作りチョコレート講座	
7(火)		・道新「バレンタインのための手作りチョコ講座」記事掲載
8(水)		・NHK北カフェ(11:50～11:54)TACS生産者トークライブ
9(木)	ジャズナイト	
12(日)	かちモババレンタイン川柳 表彰式	
13(月)		・勝毎「かちモババレンタイン川柳表彰式」記事掲載
13(月)		
14(火)		・勝毎「イルミネーション」記事掲載
17(金)	ワンコインマネー講座	
17(金)		・大地のファンファーレ前編放送
17(金)		・大地のファンファーレ特番ばんえいよりNHK生中継(18:00～18:40)
20(月)		・じゃらん発売(大地のファンファーレ特集で満我菜亭掲載)
24(金)	生産者トークライブvol.3	
24(金)		・北海道新聞朝刊「生産者トークライブ」記事掲載
24(金)		・大地のファンファーレ後編放送
26(日)		・十勝毎日新聞「生産者トークライブ」記事掲載
28(火)		・NHK18:10～生放送 大地のファンファーレ関連メニュー紹介
28(火)		・Chai発行
3月		
8(木)	ジャズナイト	
8(木)		・朝日新聞道東タウンガイド「生産者トークライブ」紹介記事
15(木)		・クルール「ワンコインマネー講座」紹介記事
16(金)	整理収納の基本講座	
20(火)		・北海道WALKER とちまちむら紹介記事
		・るるぶ富良野 とちまちむら紹介記事
		・Harmony とちまちむら紹介記事
22(木)		・道新「生産者トークライブ」告知記事
23(金)	生産者トークライブvol.4	
24(土)～25(日)	ばんえいクワイマックスフェア	
27(火)		・Chai発行
27(火)		・道新「生産者トークライブ」記事
27(火)		・勝毎「ワンコインマネー講座」紹介
28(水)	ワンコインマネー講座	・FM WING「ワンコインマネー講座」生中継 15分

■ 「とちまち」平成23年度を振り返っての問題点

1. 入居テナントの撤退

本年度内に4店舗（産直ゾーン1店、飲食ゾーン3店）が撤退したことが、レジ客数および総売上の減少の大きな要因となっており、新規テナントの誘致が目下最大の課題となっているため、現在、積極的な誘致活動を進めている。

- ・産直ゾーン： 2店舗（開業時）→ 1店舗（平成24年2月に1店舗退店）
- ・飲食ゾーン： 7店舗（開業時）→ 4店舗（平成23年9月に1店舗退店、平成24年2月に2店舗退店）
- ・物販ゾーン： 3店舗（開業時）→ 3店舗（平成23年6月～11月の期間は、1店舗が期間限定出店した）

2. 競馬非開催日と夜間における客数の低迷

競馬非開催日及び夜間における更なる集客力の向上が、1年を通しての課題として挙げられるが、一部店舗においては、夜間の利用者数の増加も見られる。

3. 冬期における客数の低迷

夏期、特に7月から8月にかけての夏休みシーズンにおいては、観光客（特に団体ツアー客）の来場が見込まれることが、本年度7月・8月の状況からも見受けられる。しかし、冬期においては、競馬場にて人気レース・大型レースの実施がない日は、客数・売上ともに低迷したため、特に冬期間においては地元客の取り込みに注力している。

4. 地元住民の利用促進

「観光交流拠点施設」という位置づけによる影響からか、帯広近郊及び帯広市民の中には「観光客が行く場所」というイメージを抱いている人がいまだに存在する。ただし、施設全体としての販促活動と店舗毎の営業努力により、認知度は徐々に上がってきており、地元住民の利用を更に促進する取組みが必要である。

5. 産直市場の更なる集客力向上の必要性

開業年度の「とちまち産直市場」は、十勝産の農産品の収穫が減少する冬期での商品力低下が大きな課題であったが、本年度冬期は四国や本州などから直送の生鮮品を取り揃え市民利用を促進したことで、売上を前年度実績から大きく増加させることに成功した。

（店舗税込売上 前年度比 12月：171.93% 1月：113.82% 2月：127.97% 3月：135.38%）

とちまちの営業成績を向上させるには、次の3点が重要である。

1. 平日・夜間・冬期における集客力の更なる向上
2. 帯広近郊及び帯広市民による利用の更なる促進
3. 産直市場をはじめとする各店の魅力作り
（各店舗にてテイクアウト商品をそろえる等）

とちまちの運営コンセプト

とちまちとは？

その名の表す通り、「十勝を代表する産物や食、人の交流拠点」であることを目指した施設です。
また、同時に「ばんえい競馬」との相乗効果を図る事も目的としております。

とちまちの役割

- ・十勝の観光交流拠点～道内外からの観光客と十勝をつなぐ交流の拠点となるべき場所
- ・ばんえい競馬の後方支援～ばんえいに新しい顧客を想像し、人の流れを生み出す
- ・食の情報発信基地～十勝＝食。地域の産物や生産者をPRする場所

運営コンセプト①

十勝・車の玄関口

空の玄関が帯広空港、JRの玄関が帯広駅だとすれば、
車の玄関・拠点は「とちまち」。
十勝に車で訪れる、レンタカーで十勝を楽しむ人にとっての観光
情報拠点として、情報のポータル化をすすめます。

ターゲット：管内他地域客、道内観光客、道外観光客
海外観光客、
観光客を案内する立場の帯広市民

運営コンセプト②

とちまちドリーム

「とちまちで夢をみよう、夢を実現しよう」をテーマに、
十勝人のやりたいことをサポートし、場・機会の提供を行います。
また、やりたくてもあと一歩で実現できていない人を
サポートし、地域の力を借りて実現していきます。

ターゲット：十勝在住者
十勝にUターン、Iターンしたい人
十勝出身者（他地域居住者）
国内外からの学生・研修生
十勝を題材にしたビジネスをしたい人

「とがちむら」平成24年度販促計画

			開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
歳時記				春休み	GW	父の日	七夕	夏休み	敬老の日	運動会	ボジョレー解禁	クリスマス	初売り	節分	ひな祭り
				入学式	子どもの日	クールビズ	夏休み	お盆	ハロウィン	体育祭	クリスマス準備	歳末商戦	受験	バレンタイン	歓送迎会
				GW準備	母の日	ボーナス商戦	お中元	帰省準備	秋のお彼岸	ボジョレー予約	七五三	お歳暮	バレンタイン準備	ホワイトデー準備	新生活
				春の行楽	お中元	お中元	ボーナス商戦	新学期準備	収穫・秋の味覚		ボーナス商戦	大掃除	節分準備	入学準備	卒業式
				ばんえいオープン	梅雨	五輪商戦	土用の日	夏祭り		紅葉・秋の行楽	お歳暮	冬休み	入学準備		ホワイトデー
					お花見	梅雨	夏の生活	花火大会			鍋メニュー	帰省	成人式		春休み
						運動会		新学期準備			あったかライフ	忘年会	七草		ばんえい最終
											紅葉・秋の行楽	冬至	風邪対策		
													新年会		
													氷祭り		
観光スペース	観光ボランティア育成		4月、8月					●							
	ドライブCD発売		9月						●						
	顔出し看板設置		5月(※6月以降常設)		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
とがちドリーム	世界のフードフェスティバル	スペイン(十勝アヒージョ)	8月第1週(※2周年祭期間中)					●							
	牧草ロールアートプロジェクト		7月末～8月(※9月～11月中も設置)				●	●	○	○	○				
	とがちむらゆるキャラ募集		10月							●					
	生産者トークライブ		毎月第3金曜開催	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	畑体験	畑体験	5月～9月		●	●	●	●	●						
		収穫祭	9月						●						
	ジュニアダンスバトル		8/18(土)					●							
	フューチャーワークス	カメラマンバトル	6月募集、7月実施				●								
		クッキングバトル	8月募集、9月実施						●						
		キッズモデルオーディション	10月募集、11月実施								●				
		お笑いバトル	1月募集、2月実施											●	
		バンドバトル	3月募集、4月実施												
		社長バトル(社長ゲーム)	10/7(日)							●					
	フリマ		4月～10月 毎月第1、第3土日 ※変動あり	●	●	●	●	●	●	●					
		幕別	7/2(月)～8(日)				●								
	JAコラボイベント	その他JA	9月～10月(※収穫時期)						●	●					
		大合コン	7/21(土)、11/24(土)、1/26(土)				●				●		●		
	1dayカフェ	科学カフェ	8/8(水)、1/9(水)、3/20(水)					●					●		●
		古本交換カフェ	6月～3か月に一度(第2日曜) ※11/3(土)は文化の日にも特別開催。			●			●		●			●	
		古CD交換カフェ	7月～3か月に一度(第2日曜) ※12月は大掃除時期につき特別開催。				●			●		●			●
		スポーツバー	試合当日 随時		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コスプレカフェ	秋頃のアイマス記念の日						●						
		菓音さんのクッキーアートカフェ	11/3(土)文化の日								●				
	発表会スペース		随時		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	カルチャー講座		毎月 平日開催	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
経常販促	レース付宴会プラン		5/12(土)～10/29(月)のレース開催 日限定		●	●	●	●	●	●					
	方言クイズ		6月以降毎日			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
告知	フリーペーパー	春夏	7月(次年度以降は5月)				●								
		秋冬	10月or11月								●				
	chai		隔月	●	●		●		●		●		●		●
	かちモバ		随時		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	メルマガ		隔週or毎週		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	FB		随時		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

とかちむら 営業実績報告 レポート(その二)

項目別実績

	開業1年目実績 (A) (平成22年8月6日～平成23年8月5日)	平成23年度実績 (B) (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	増△減数	増△減率
年間売上金額(円)	186,001,346	168,105,028	△ 17,896,318	△ 9.62
年間来場者数(人)	395,586	335,371	△ 60,215	△ 15.22
レジ客数(人)	193,320	159,984	△ 33,336	△ 17.24
客単価(円)	962	1,051	89	9.25
雇用者数(人)	51	37	△ 14	△ 27.45
店舗数(店)	12	8	△ 4	△ 33.33

ゾーン別実績

		開業1年目実績 (A) (平成22年8月6日～平成23年8月5日)	平成23年度実績 (B) (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	増△減数	増△減率
産直ゾーン	年間売上金額(円)	80,332,609	83,024,414	2,691,805	3.35
	店舗数	開業時: 2店舗 → 平成23年度: 1店舗 (平成24年2月に1店舗退店)			
飲食ゾーン	年間売上金額(円)	72,310,160	58,778,387	△ 13,531,773	△ 18.71
	店舗数	開業時: 7店舗 → 平成23年度: 4店舗 (平成23年9月に1店舗退店、平成24年2月に2店舗退店)			
物販ゾーン	年間売上金額(円)	33,358,577	26,302,227	△ 7,056,350	△ 21.15
	店舗数	開業時: 3店舗 → 平成23年度: 3店舗 (平成23年6月～11月 1店舗期間限定で出店)			
全店合計	年間売上金額(円)	186,001,346	168,105,028	△ 17,896,318	△ 9.62
	店舗数	開業時: 12店舗 → 平成23年度: 8店舗			

◎帯広市産業振興ビジョン 事業シート評価について

【1. 評価の視点】

・産業振興ビジョンでは地域産業の目指す姿を『地域力をいかした活力ある地域産業の形成』とし、以下の3つの視点に基づき、中小企業者、経済団体、行政などの適切な役割分担、協働のもと、地域産業の振興に関する施策を展開することとし、50事業82項目の事業を掲げております。

視点1 地域資源を活用した産業の振興
視点2 産業間・産学官連携による産業の振興
視点3 中小企業の活性化による産業の振興

・今回の評価にあたっては、ビジョン事業を立案する背景となった平成19年時点での議論から時間が経過したことから、

①事業手法が時代に合ったものとなっているか

②委員が関係している事業や地域課題にとってどういう関係性があるのか
の観点から率直に皆さんの意見を伺うものです。

ビジョン事業に新たな項目を加えたり、廃止したりするフレームの見直し作業は、策定から5年経過後となっていることから、平成25年度にその作業を実施する予定です。

【2. 作業の流れ】

1. 帯広市産業振興ビジョンで掲げた事業について、評価表に基づき評価の視点の①、②の観点から以下の4段階で評価をしていただく。

4. 優先度が高い 3. 優先度が比較的高い 2. どちらでもない 1. 優先度が低い



2. 評価結果を第3回産業振興会議に提示し、議論の深掘りの手法について検討 ←



3. 議論の深掘り（新たな視点、事業者側のニーズに基づいた事業の構築）

・事務局側で、ビジョン事業についての総合計画、公約との関係を整理

→市民、中小企業委員視点からの事業の点検

事業シート評価・議論結果

1. 中小企業経営基盤の強化					
No.	展開事業	ビジョン掲載事業	掲載事業別 平均	展開事業別 平均	ご意見等の概要
1-1	6 創業・起業応援(重点プロジェクト)	教育委員会等との調整、教育カリキュラム等への組入れ(体験型含む)	2.0	2.90	・トレーディングゲームは実施が難しいが、創業企業マインドの育成は必要。違う形で残してはどうか。 ・どのような職業があるかを伝えないと、職業選択に結びつかないのではないか。 ・創業企業マインドの育成と、職業を知ることの2本立てが必要。 ・インターンシップ(2-8.2-9)との統合も考えてはどうか。 ・1-3はどのような人が利用しているのか。
1-2		情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進	3.4		
1-3		創業・起業支援フェアの開催	3.3		
1-4	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)	情報提供方法やサポート体制の検討	3.3	3.45	
1-5		創業支援のための融資制度の拡充	3.6		
1-6	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)	地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築	3.4	3.20	
1-7		総合的情報発信の仕組みの検討・推進	3.0		
1-8	9 事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト)	関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣	3.0	3.00	
1-9	2 仮称・産業振興会議の運営	産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証	3.4	3.40	
1-10	4 同業種・異業種交流の組織化と情報提供	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進	3.1	3.10	
1-11	5 組織化促進・中小企業団体の育成	中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援	2.4	2.40	
1-12	8 融資制度の充実	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業融資制度の充実	3.5	3.50	
1-13	10 商業関係団体支援	商業振興のための活動支援	3.3	3.30	
1-14	11 商店街活性化・商店街団体支援	商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業(ハード、ソフト、イベント等)	3.6	3.60	
1-15	12 ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)	ものづくり総合支援補助金による支援の実施	3.2	3.20	・建設業が0件となっていることについてどう考えているか。
1-16	13 地域経済の調査・分析	調査分析の効果的实施、有効活用等	3.0	3.00	
				3.16	

事業シート評価・議論結果

2. 産業人・担い手の育成					
No.	展開事業	ビジョン掲載事業	掲載事業別 平均	展開事業別 平均	ご意見等の概要
2-1	15 「人財」育成(重点プロジェクト)	中小企業研修連携会議の設置・運営	3.0	3.10	・2-1～2-5は統合してよいのではないか。
2-2		実践的な経営者向け研修事業の充実	3.4		
2-3		中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討	2.9		
2-4	16 総合的研修(重点プロジェクト)	図書館等を利用した研修機会の充実	2.5	2.55	・図書館を利用するのは特別な理由や必要があるのか。 ・計画を立てても実施しないものは変えていく必要があるのではないか。
2-5		中小企業出前講座の実施促進	2.6		
2-6	18 雇用創出支援(重点プロジェクト)	人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化	3.5	3.55	・「ジョブジョブとかち」をもっと知ってもらうべき。
2-7		地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施 新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施	3.6		
2-8	14 インターンシップ事業の充実強化	帯広版インターンシップマニュアルの検討	3.1	3.20	・中学生が体験できる機会を増やしてほしい。 ・2-8,2-9を統合して重点にすることも重要。 ・意識の高い大学生を伸ばす教育も必要。 ・十勝の産業と連携する者を対象に取り組んではどうか。 ・大学生よりも、中途採用を対象に創業マインドを育成すべき。 ・起業の説明よりも、どのような職業があるかを伝えるべき。
2-9		十勝型インターンシップの実践	3.3		
2-10	17 シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり	高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と情報提供の仕組み作成	3.1	3.10	・高齢者を対象とすることは、人材育成としてなじむのか。
				3.10	・人づくりも産学官連携で取り組む必要がある。 ・再就職、即戦力になる者を対象とした取り組みが抜けている。 ・事業を集約して、情報の集約を図ってはどうか。 ・Iターン、Uターンフェアは、企業数が多く、求める人材のレベルも高いので、うまくマッチングしない。何か良い方法はないか。

事業シート評価・議論結果

3. ものづくり産業の振興					
No.	展開事業	ビジョン掲載事業	掲載事業別 平均	展開事業別 平均	ご意見等の概要
3-1	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)	既存の機械電気技術、木工技術、塗装技術等の研究会や勉強会の充実(大学や試験研究機関との連携・技術力強化)	2.4	2.45	・3-3は各校が独自に取り組んでおり、市の施策としてビジョン事業に加える意味がない。
3-2		希少技術継承支援	2.0		
3-3		専門的技術の習得や資格等の取得可能な専門コースのモデル実施	2.1		
3-4		ものづくり総合支援補助金の機能充実(産業支援機構や中小企業総合相談機能との連携)	3.3		
3-5	21 産業支援機能の充実	アドバイザー等によるものづくり相談会の実施、紹介	3.0	3.00	
3-6	20 アグリ・フード・バイオ関連産業振興(重点プロジェクト)	農産物付加価値向上、地域特性をいかしたクラスター化、地域ブランド向上等を目的としたアグリ・フード・バイオクラスター事業の展開(国の食料産業クラスター事業等の導入による総合的な食関連事業の展開)	3.4	3.40	
3-7	22 産学官連携(重点プロジェクト)	企業訪問等による情報交換	3.2	3.00	・企業訪問の結果、具体的な動きにつながっているか。そもそも日常業務であり、あえてビジョン事業に加える意味があるか。
3-8		都市エリア産学官連携促進事業(発展型)の実施(現:地域イノベーション戦略支援プログラム)	3.1		
3-9		十勝事業化評価委員会(産学官金連携)の充実	3.1		
3-10		帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づく協議会等の設立、研究成果活用連絡会議、情報交流サロンなどの開催ほか	2.6		
3-11	19 地域産業資源活用促進	地域資源活用の手法について学ぶ場を提供し、地域資源を有する側と活用する側を結び付けるための事業の実施	3.5	3.25	
3-12		地域資源活用情報交流事業の庁内検討	3.0		
3-13	21 産業支援機能の充実	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の技術指導や製品化支援活用のPR	2.9	2.90	
3-14	23 地域産業コーディネート	地域の優位産業の分析、クラスター形成に資する事業検討、各事業への展開(見直し含む)	2.6	2.60	・市の施策としては実現が難しいのではないかな。
3-15	24 大規模化へ頑張る工房支援	食品・木工・金属等の懇談会の設置、ものづくり相談・支援・ものづくり技術力強化、中小企業支援	2.9	2.90	
3-16	27 市場開拓・販路拡大	十勝のストーリーづくり検討会の設置、十勝を総合的にプロデュースする活動	3.3	3.40	
3-17		域外展示会や物産展への出展支援	3.5		
3-18	28 とかちブランド育成	十勝地域の複数の認証制度や認証機関の相互連絡調整、及び確立	2.8	2.75	
3-19		認証取得に対する優遇措置の検討、モデル実施	2.7		
				2.92	・個々の企業が抱える課題への支援ではなく、「フードパレーとかち」などの大きな流れの中での支援策を考えるべきではないか。 ・地の利を生かした産業育成について検討してほしい。 ・ものづくりでは「作ること」と「販売すること」に大きな課題があり、このような支援・相談体制を更に拡充いただければ。

事業シート評価・議論結果

4. 産業基盤の強化					
No.	展開事業	ビジョン掲載事業	掲載事業別 平均	展開事業別 平均	ご意見等の概要
4-1	33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	企業立地法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施	3.6	3.22	・4-4は予算もなく未着手。検討の結果どうなっているのか。
4-2		企業立地促進条例の見直し	3.7		
4-3		企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進	3.2		
4-4		共同利用施設の必要性調査、検討	2.8		
4-5		とかち応援団のネットワーク化	2.8		
4-6	31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)	食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)	3.0	2.95	・4-7は土地購入資金がネックであり、リースや定期賃貸借などの制度があるとよい。 ・事業者の立場からは、集積のメリットは特段感じない。
4-7		食料品関連産業、機械金属関連産業、環境・リサイクル関連業種の集積に関する検討	2.9		
4-8	35 産業立地環境の整備(重点プロジェクト)	産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)	2.5	2.50	
4-9	29 産業集積誘導のための交流連携	産業集積誘導のための交流連携事業の実施	2.8	2.80	
4-10	30 工業用公共料金に係る負担軽減の検討	工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体の制度を参考に検討)	2.8	2.80	・「誘致集積」として統合できるのではないか。
4-11	32 道央圏、道東圏への商圏拡大PR	道央圏、道東圏への商圏拡大やPRの取組みに対する支援	3.6	3.60	
4-12	36 食料品製造業集積支援機能の検討	食料品製造業集積支援機能の検討(技術者の養成や資格取得を支援する仕組みの検討)	2.7	2.70	
				3.03	・全体を通して、2～3の事業を1つに統合できるものもあるのではないか。統合すれば目的が明確化する。 ・市が事業実施主体でないものは、ビジョン事業から削除すべき。

事業シート評価・議論結果

5. 集客交流産業の振興					
No.	展開事業	ビジョン掲載事業	掲載事業別 平均	展開事業別 平均	ご意見等の概要
5-1	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地産地消の推進・PR	2.2	2.76	・あれもこれも掲載しなければならないという感じになっていないか。例えば、5-7は市や観光協会が ランク付けするのは無理ではないか。 ・(5-7)「ぐるなび」など既存の仕組みがあり、新たに作る必要はない。
5-2		産業観光推進会議の設立・モデルルート検討	2.8		
5-3		とかちグルメ市の開催	3.3		
5-4		街めぐりチケットの発行	2.9		
5-5		ふるさと宅配便事業	2.9		
5-6		アンテナショップの拡充	3.1		
5-7		帯広版ミシュランガイドの発行	2.1		
5-8	38 総合観光情報提供(重点プロジェクト)	総合観光情報サイトの構築	2.8	2.80	
5-9	39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)	観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバン の実施	3.5	3.55	
5-10		フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施	3.6		
5-11	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)	3.5	3.45	
5-12		景観と食のスポット起業化・立地誘導	3.4		
5-13	40 移住促進・移住体験	プチ留学体験プログラム事業	3.2	3.20	
5-14	41 観光「人財」育成	観光プロデュース人材の養成	3.3	3.35	・ボランティアガイドの資格が実務のプラスα になる仕組み作りが必要。資格についての需給マッチ ングや、観光客に資格取得者が分かるような仕組み作りも重要。 ・資格取得者がボランティア等で働ける場所づくりや、実務者向けの資格について検討すべき。
5-15		シティガイド・ボランティアガイド育成事業・仕組みづくり	3.4		
5-16	43 まちの魅力再発見	まちの魅力再発見事業の実施	2.8	2.80	
5-17	44 コンベンション誘致HQの設置	コンベンション誘致推進体制の強化	2.9	2.90	
5-18		コンベンションセンター機能の調査検討	2.9		
5-19	45 観光インフォメーション機能の充実	観光インフォメーション機能の充実	3.1	3.10	・外国人観光客の集客も重要。飲食店などでのHPの外国語表示をすすめるべき。 ・各グループがそれぞれ対応している状況。リピーターを作るような仕掛けが必要。 ・駅や空港の目につく場所に観光案内所、インフォメーションが必要。
5-20	46 環境・景観づくり	花でようこそ環境・景観整備事業	2.9	2.90	
5-21	47 シーニックバイウェイ推進	環境美化運動・幹線道路花植事業・お勧め観光スポットの情報発信	3.0	3.00	
5-22	48 海外旅行者の受入れ歓迎体制の充実	旅行者へのアナウンス、外国語案内標記の充実	3.3	3.30	
5-23の1	49 チャーター便の拡充と国際化の検討	チャーター便の拡充と情報収集	3.4	3.15	
5-23の2		国際化の検討	2.9		
5-24の1	50 空港利用促進	東京線新規就航準備	3.0	3.03	
5-24の2		施設整備	2.9		
5-25		航空路線の充実	3.2		
				3.05	・実施するのかわからないのか、本当に重点なのか、重点なのに何故未着手なのかなど、整理する必要 がある。

1-1

事業シート(概要説明書)			
担当課名		工業労政課	担当者名
			竹川
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化	
基本施策		③創業・起業の促進	重点プロジェクト ◎
(番号)展開事業		6 創業・起業応援(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		教育委員会等との調整 教育カリキュラム等への組入れ(体験型含む)	
①事業概要		起業家教育プログラム体験会の実施 平成21年度、平成22年度 北海道経済産業局主催のトレーディングゲーム体験を帯広市で実施 平成22年度参加者 商工会議所、帯広信金、中小企業家同友会、民間企業4社、帯広南商業高校、帯広市教育委員会等 21名参加	
②事業主体		帯広市、北海道経済産業局	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		働くことの大切さや喜び、更には創業することの素晴らしさを伝えたり、働くことを体験する場の提供などについて長期的な視点に立ち、取組むことで創業、起業を活発化することを目的。	
⑤事業の到達状況		教育委員会との意見交換も行ったが、即、カリキュラムに組み入れることは困難な面があることから、経済産業省の起業家教育促進事業で導入された起業家教育プログラムの体験を実施。起業家教育に係る見識を深め、キャリア教育の現場での普及を図ることを目指した。教育現場での実践的な普及を目指すため、就職割合の比較的高い職業系の高等学校の進路指導教員を主な参加者として想定したが、時間が合わず南商業高校の教員1名のみの参加にとどまった。学校や企業での実践にまでは至っていない。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		トレーディングゲームについては、ゲームとしては面白く、考えさせられる部分も多いが、その体験が実際に起業化への意識につながるかは疑問な面もある。また、ゲームの進行役となる人のスキルも重要であるなど、学校等で普及させていくには、まだハードルが高いと思われるため、他の取り組みについても検討が必要。なお、平成24年度は、教育委員会と連携し、小学生の職業体験事業「キッズタウン」を実施。	

1-2

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		6 創業・起業応援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進		
①事業概要		中小企業振興専門員(嘱託職員)を配置して相談に応じており、各機関の支援策や融資メニューの紹介等、創業希望者のニーズに合わせたアドバイスの提供を実施		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,349千円		
	平成22年度決算	2,216千円		
	平成23年度決算	2,406千円		
	平成24年度予算	2,488千円		
④事業の目的・成果		中小企業者が抱える課題解消を目的に情報提供や相談業務を行い、中小企業者の事業活動を支援するもの		
⑤事業の到達状況		年間約50件の相談に応じている		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者が抱える課題は多様化しており、引き続き個別の案件に応じた情報提供やアドバイスができる体制の充実を図る		

1-3

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		6 創業・起業応援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		創業・起業支援フェアの開催		
①事業概要		市内で活躍している事業者の講演会のほか、金融機関等の各支援機関による個別相談を実施し、創業に向けた心構えや経営テクニックなど、専門的見地からのアドバイスを提供		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	179千円		
	平成22年度決算	102千円		
	平成23年度決算	103千円		
	平成24年度予算	163千円		
④事業の目的・成果		創業・起業を目指す人を支援することで、プレイヤーを創出し、市内経済の活性化及び産業振興を目的とするもので、雇用の創出、市民所得の向上につなげるもの		
⑤事業の到達状況		帯広商工会議所が主催する「創業セミナー」と連携して、毎年20名程度の参加があり、そのうち数名の創業者を輩出している		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		全国的に見ても廃業率が創業率を上回っており、創業を実現しても3～5年で廃業するケースが散見されることから、創業後のフォローを含めた総合的な支援策について検討を要する		

1-4

事業シート（概要説明書）			
担当課名		商業まちづくり課	担当者名
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化	
基本施策		③創業・起業の促進	重点プロジェクト
(番号)展開事業		7 創業・起業実践(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		情報提供方法やサポート体制の検討	
①事業概要		中小企業基盤整備機構、北海道中小企業総合支援センター、金融機関等との連携により、支援施策(専門家派遣、助成金、融資制度等)の説明会を実施している	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		創業希望者にとって費用負担軽減や、より質の高い事業活動につながる情報を提供することで、持続性のある起業家を育成し、市内経済の活性化及び産業振興につなげるもの	
⑤事業の到達状況		商工会議所が開催する創業セミナーや市が開催する創業フェアなど、創業希望者が集まるセミナーに合わせて、各種施策の説明会を実施しており、毎年約60名の創業希望者に情報提供を行っている。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		創業希望者がどのような支援施策を求めているのか、ニーズを把握し、より質の高い情報を、より多くの創業希望者に提供できるよう取り組みを進めるもの	

1-5

事業シート（概要説明書）			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	③創業・起業の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	7 創業・起業実践(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	創業支援のための融資制度の拡充		
①事業概要		帯広市中小企業振興融資制度における「新規開業支援資金」により、低利・長期・固定の融資制度を提供。信用保証協会を利用する場合は、必要な信用保証料を補助するもの	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算	6,812千円	
	平成22年度決算	6,448千円	
	平成23年度決算	2,980千円	
	平成24年度予算	2,850千円	
④事業の目的・成果		創業希望者の円滑な資金繰りと負担軽減を図ることで、プレイヤーを創出し、市内経済の活性化及び産業振興を目的とするもので、雇用の創出、市民所得の向上につなげるもの	
⑤事業の到達状況		毎年40件前後の利用があり、プレイヤーの創出につながっている	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		創業希望者がより利用しやすい制度となるよう、融資制度の内容を充実させるとともに、制度の周知等、多くのプレイヤーを創出できるよう取組みを進めるもの	

1-6

事業シート(概要説明書)				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		①経営支援	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築		
①事業概要		中小企業振興専門員(嘱託職員)を配置して相談に応じているほか、帯広商工会議所、市内金融機関等と連携し、各支援機関の支援策の情報提供等、中小企業者のニーズに合わせた総合的な相談体制を構築している。		
②事業主体		帯広市・帯広商工会議所・金融機関 等		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,349千円		
	平成22年度決算	2,216千円		
	平成23年度決算	2,406千円		
	平成24年度予算	2,488千円		
④事業の目的・成果		中小企業者が抱える課題解消を目的に情報提供や相談業務を行い、中小企業者の事業活動を総合的に支援するもの		
⑤事業の到達状況		年間約50件の相談に応じている		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者が抱える課題は多様化しており、引き続き個別の案件に応じた情報提供やアドバイスができる体制の充実を図る		

1-7

事業シート（概要説明書）			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	1 中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	総合的情報発信の仕組みの検討・推進		
①事業概要		各支援機関との連携による、研修事業の内容・日程の共有及び研修情報の一元化による情報公開 産業振興担当職員ブログによる情報発信	
②事業主体		帯広市・帯広市中小企業研修連携会議	
③市が支出している金額	平成21年度決算	0千円	
	平成22年度決算	0千円	
	平成23年度決算	0千円	
	平成24年度予算	0千円	
④事業の目的・成果		各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める総合的な情報提供を行う	
⑤事業の到達状況		各支援機関と連携して情報発信できている。 産業振興担当職員ブログアクセス数72,001件(H24.6.8現在)	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する	

1-8

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		④経営基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		9 事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣		
①事業概要		事業承継及び事業再生に関する相談業務、セミナー開催、専門家派遣の実施		
②事業主体		(独)中小企業基盤整備機構北海道支部 (財)北海道中小企業総合支援センター 等		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		中小企業者が抱える課題を解消することを目的に、関係機関と連携し、相談体制の充実や各種セミナーの開催、専門家派遣等により、事業承継や事業再生の円滑な推進を図るもの		
⑤事業の到達状況		各支援機関において、各種セミナー、専門家派遣を実施		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		各支援機関との連携をさらに強化し、中小企業者の課題解消に努めるもの		

1-9

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		①経営支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		2 仮称・産業振興会議の運営		
ビジョン掲載事業		産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証		
①事業概要		帯広市産業振興ビジョンの進捗管理を行うため、中小企業者等と協働で施策を推進するため「産業振興会議」を設置する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	535,000円		
	平成22年度決算	189,725円		
	平成23年度決算	301,239円		
	平成24年度予算	145,000円		
④事業の目的・成果		帯広市産業振興ビジョンに基づく事業の着実な実施による中小企業の振興。		
⑤事業の到達状況		1期(21年3月30日～23年3月29日)に続いて、2期目の会議を運営中。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業振興施策を活発化させていくために産業振興会議の議論を活発化することが必要。平成24年度は、中小企業者との協働による施策の具体的展開方策に係る議論を行う。		

1-10

事業シート（概要説明書）			
担当課名	工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	①経営支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	4 同業種・異業種交流の組織化と情報提供		
ビジョン掲載事業	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進		
①事業概要		十勝圏振興機構や中小企業家同友会、商工会議所、帯広畜産大学等、関係機関と連携しながら、同業種・異業種企業の交流を促進するとともに、情報の共有化、情報発信等を行う。	
②事業主体		関係機関	
③市が支出している金額	平成21年度決算	180,000円	
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		同業種・異業種交流を活性化するため、目的を明確にした上で、効果的な交流を促進する。	
⑤事業の到達状況		活動が停滞気味になっていた「帯広産業クラスター研究会」を解散後、「とかちネット」(事務局:帯広畜産大学)が設立され、産学官連携及び同業種、異業種事業者の交流が推進されている。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		様々な関係機関同士の連携を強めることで、更なる交流の輪を広げる。	

1-11

事業シート（概要説明書）			
担当課名		商業まちづくり課	担当者名
出町			
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化	
基本施策		②組織化促進・中小企業団体の育成	重点プロジェクト
(番号)展開事業		5 組織化促進・中小企業団体の育成	
ビジョン掲載事業		中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援	
①事業概要		団体が組織強化及び商業振興のために実施する事業に対して支援する。	
②事業主体		北海道中小企業団体中央会十勝支部	
③市が支出している金額	平成21年度決算	450千円	
	平成22年度決算	450千円	
	平成23年度決算	450千円	
	平成24年度予算	450千円	
④事業の目的・成果		団体の組織化の促進及び事業の充実を図り、もって中小企業の振興を促進し、地域経済の活性化を図る。	
⑤事業の到達状況		地域経済と中小企業が置かれている状況に対応し、中小企業等連携組織の専門機関としての的確にニーズを受け止め、中小企業等連携組織の振興・発展を図っている。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		今後も団体と連携を取りながら、団体が行なう中小企業等連携組織の振興事業に対し、引き続き支援をしていく。	

1-12

事業シート（概要説明書）			
担当課名	商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向	1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策	④経営基盤の強化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業	8 融資制度の充実		
ビジョン掲載事業	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業融資制度の充実		
①事業概要		帯広市中小企業振興融資制度により、低利・長期・固定の融資制度を提供。一部の資金メニューについては、信用保証協会を利用する場合、必要な信用保証料を補助するもの	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算	6,844,000千円	
	平成22年度決算	7,144,000千円	
	平成23年度決算	7,344,000千円	
	平成24年度予算	7,200,000千円	
④事業の目的・成果		中小企業者の円滑な資金繰りを支援し、活力ある地域経済の形成につなげるもの。	
⑤事業の到達状況		リーマンショックの平成20年度をピークに資金需要は落ち着きつつあるものの、毎年約50億円前後の新規貸付を行っており、多くの利用がある	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		資金メニューの創設や統廃合など、時代のニーズに合った制度であるべきことから、中小企業者に求められる制度であり続けるよう、常に制度の充実について検討するもの	

1-13

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	出町
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		⑤商業・商店街の活性化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業		10 商業関係団体支援		
ビジョン掲載事業		商業振興のための活動支援		
①事業概要		・帯広まちなか歩行者天国 ・イルミネーション事業 ・おびひろ・街の建物を書き残す展		
②事業主体		帯広まちなか歩行者天国実行委員会 おびひろイルミネーション実行委員会 他		
③市が支出している金額	平成21年度決算	3,000千円		
	平成22年度決算	3,000千円		
	平成23年度決算	3,500千円		
	平成24年度予算	3,300千円		
④事業の目的・成果		・中心市街地の「にぎわい」創出		
⑤事業の到達状況		中心市街地の通行量増加等、一定の成果が認められる。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中心市街地の「にぎわい」が商業振興に繋がる為の具体的方策が必要。		

1-14

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	高松
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		⑤商業・商店街の活性化	重点プロジェクト	-
(番号)展開事業		11 商店街活性化・商店街団体支援		
ビジョン掲載事業		商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業 (ハード、ソフト、イベント等)		
①事業概要		①演出・催事実施事業 ②地域いたわり商店街事業(地域住民により近い位置に感じられる、 愛される商店街になるために実施する事業) ③商店街ロードヒーティング事業		
②事業主体		市内商店街振興組合 等		
③市が支出している金額	平成21年度決算	①7,166千円 ②200千円 ③4,823千円		
	平成22年度決算	①6,371千円 ②1,016千円 ③5,001千円		
	平成23年度決算	①6,185千円 ②825千円 ③5,001千円		
	平成24年度予算	①7,000千円 ②1,000千円 ③5,001千円		
④事業の目的・成果		商店街を単なる買い物の場としてばかりではなく、市民が求める「ゆとり」、「うるおい」、を創出する場として環境整備を計画的に進めるとともに、「にぎわい」、「ふれあい」をもたらす祭り、イベントなどの文化的演出を創り出すことにより、地域コミュニティの再生、商店街の活性化及び振興発展を図ることを目的としている。		
⑤事業の到達状況		①市内16商店街のうち14商店街が実施(H23年度)し商業・商店街の活性化に寄与 ②4商店街が5事業を実施(H23年度)し商店街に「ゆとり」「うるおい」を創出。 ③7商店街が実施(H23年度)し冬期間における快適な歩行空間を確保		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		定例のイベントだけではなく、商店街が当事者として、商店街や個店の魅力づくりに繋がる事業が本事業の中で行われていくよう取り組んでいく。		

1-15

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		⑥建設産業の革新支援	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		12 ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)		
ビジョン掲載事業		ものづくり総合支援補助金による支援の実施		
①事業概要		帯広市ものづくり総合支援補助金制度による建設業等の新製品開発、新事業新分野への進出、ベンチャー起業する場合など、製品開発から技術指導、アドバイザー紹介や開発後のフォローアップまでを総合的に支援し、地域産業の活性化・発展を図るもの。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	6,000千円		
	平成22年度決算	6,000千円		
	平成23年度決算	4,190千円		
	平成24年度予算	6,000千円		
④事業の目的・成果		成長が期待できる新規事業等について、建設関連企業側のリスクを軽減することで、新規事業への取り組み意欲の向上や、きっかけづくりを図る。		
⑤事業の到達状況		平成22年度ものづくり総合支援補助金 補助件数11件中 建設業種4件 平成23年度ものづくり総合支援補助金 補助件数9件中 建設業種0件 平成24年度ものづくり総合支援補助金 補助事業7件中建設業種2件		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		建設業種の第二創業に向けた支援を行うため、今まで以上に企業のヒアリング等を拡大し、企業の要望の把握と新事業予備軍の発掘に努める。		

1-16

事業シート（概要説明書）				
担当課名		産業連携室	担当者名	山本
施策の基本方向		1 中小企業の経営基盤の強化		
基本施策		⑦地域経済の調査研究	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		13 地域経済の調査・分析		
ビジョン掲載事業		調査分析の効果的实施、有効活用等		
①事業概要		「経済リサーチ小委員会」を設置し、地域経済の調査分析等について検討		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算	707,880円		
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、調査分析の効果的实施や有効活用を進める		
⑤事業の到達状況		地域経済の調査分析等について、研修会や先進事例調査を行い、それらを基に議論を重ね、十勝・帯広における地域経済の調査分析やシンクタンク機能の整備について提言書として方向性などをとりまとめた。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		管内の金融機関、団体等が既に地域経済の調査分析などを行っていることから、今後は、相互の連携・協力による継続的な産業動向や地域経済のリサーチ等を行い、情報の共有化・公開などを図る必要がある。		

2-1

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		中小企業研修連携会議の設置・運営		
①事業概要		各支援機関との連携による、研修事業の内容・日程の共有及び研修情報の一元化による情報公開 講演内容をDVD化し、帯広市図書館からの貸出を実施 中小企業振興に資する共同事業(講演会等)の実施		
②事業主体		帯広市中小企業研修連携会議		
③市が支出している金額	平成21年度決算	500千円		
	平成22年度決算	500千円		
	平成23年度決算	500千円		
	平成24年度予算	500千円		
④事業の目的・成果		各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める情報提供を行うことにより、総合的・効果的な人材育成を推進するもの		
⑤事業の到達状況		情報公開、DVD貸出など、各支援機関と連携して実施できている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する。		

2-2

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		実践的な経営者向け研修事業の充実		
①事業概要		中小企業の経営改善及び雇用の促進、中小企業従事者等の人材の育成、資質の向上等を図るため、帯広商工会議所中小企業相談所へ補助金を交付。		
②事業主体		帯広市・帯広商工会議所(中小企業相談所)		
③市が支出している金額	平成21年度決算	10,700千円		
	平成22年度決算	10,700千円		
	平成23年度決算	10,700千円		
	平成24年度予算	10,700千円		
④事業の目的・成果		各種経営者向け研修の実施により、経営改善を促進し、経営基盤の強化をはかる。		
⑤事業の到達状況		各種経営者向けセミナーの開催 個別相談・各種セミナー延参加者数(人) 約4,000人		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者がどのような研修を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い研修の開催について検討を要する。		

2-3

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		15 「人財」育成(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討		
①事業概要		各支援機関との連携により、研修事業の内容・日程の共有を図るとともに、効果的・効率的な研修事業の推進を図る。		
②事業主体		帯広市中小企業研修連携会議		
③市が支出している金額	平成21年度決算	500千円		
	平成22年度決算	500千円		
	平成23年度決算	500千円		
	平成24年度予算	500千円		
④事業の目的・成果		各支援機関との連携を強化し、中小企業者が求める情報提供を行うことにより、総合的・効果的な人材育成を推進するもの		
⑤事業の到達状況		中小企業者向けカリキュラムの再構築等については、研修の内容やスケジュールができるだけ重複しないよう各支援機関と情報の共有を図り、効率的な実施が可能となるよう協議を進めている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者がどのような情報を求めているのか、中小企業者のニーズを掘り起こし、より質の高い情報提供の手法について検討を要する。		

2-4

事業シート（概要説明書）				
担当課名		商業まちづくり課	担当者名	山内
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		16 総合的研修(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		図書館等を利用した研修機会の充実		
①事業概要		図書館等を利用した各種セミナーの実施		
②事業主体		帯広商工会議所 等		
③市が支出している金額	平成21年度決算	0千円		
	平成22年度決算	0千円		
	平成23年度決算	0千円		
	平成24年度予算	0千円		
④事業の目的・成果		各種セミナーや出前講座の実施により、従業員育成及び経営者の資質向上が図られ、効果的・総合的な人材育成につながる		
⑤事業の到達状況		帯広商工会議所が主催する「創業セミナー」は図書館と連携して、実施しており、ビジネス支援書籍の紹介など、毎年約30名参加している		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		中小企業者が抱える課題は多様化しており、個別の案件に対応するため、セミナーや講座の内容を充実させる必要がある		

2-5

事業シート(概要説明書)			
担当課名		工業労政課	担当者名 竹川
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成	
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト ◎
(番号)展開事業		16 総合的研修(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		中小企業出前講座の実施促進	
①事業概要		職業観・勤労観の育成を目的として、小中学校や高校へ中小企業者が出向いて行う出前講座の実施を促進する。	
②事業主体		関係団体等	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		児童・生徒の職業観・勤労観の醸成を図る。	
⑤事業の到達状況		未実施	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		出前講座を実施してもらう企業の確保や教育委員会等との調整を進める。	

2-6

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	小原
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑩雇用の確保	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		18 雇用創出支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化		
①事業概要		企業の中心적인役割を果たす人材を確保・育成することで企業の活性化を推進し、更なる雇用の場の確保と拡大を進めるため、求人側と求職者とのマッチングを図る。		
②事業主体		帯広地域雇用創出促進協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	4,045千円		
	平成22年度決算	4,045千円		
	平成23年度決算	4,045千円		
	平成24年度予算	6,500千円		
④事業の目的・成果		企業の中心적인役割を果たす人材を確保・育成することで企業の活性化を推進し、更なる雇用の場の確保と拡大を進めるため、求人側と求職者とのマッチングを図る。		
⑤事業の到達状況		平成23年度はシステムを使った求人件数が205件あり、51名の就職につながっている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		事業のさらなる周知により、再就職を希望する求職者の人材情報を増やしていく一方で、企業訪問等で企業側の求める人材のニーズを把握し、マッチングを図っていく。		

2-7

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	小原
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑩雇用の確保	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		18 雇用創出支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施 新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施		
①事業概要		地域の基幹産業である農業を基盤に食料品製造業及び関連産業の振興と食を中心とした観光産業の振興により雇用を創出する。		
②事業主体		帯広地域雇用創出促進協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	3,943千円(補助金)		
	平成22年度決算	3,942千円(補助金)		
	平成23年度決算	3,954千円(補助金)		
	平成24年度予算	3,955千円(補助金)		
④事業の目的・成果		平成21年度に新パッケージ事業が採択され、地域企業が新事業展開や業務拡大するうえで必要とする専門的技術者や中核的人材を確保することを目的に、3年間で400人の正職員の雇用創出を目指して実施した。		
⑤事業の到達状況		平成21年度からの3年間で400人の目標に対し、578人(内創業者1人、常用以外93人)の雇用が創出された。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)で実施した雇用拡大、人材育成、就職促進の各メニューの効果・実績を検証し、地域雇用創造実現事業の採択を目指して、23年11月に厚生労働省に事業構想を提案。12月の採択を受け、24年4月から2年間の予定で事業実施中。		

2-8

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	小原
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		14 インターンシップ事業の充実強化		
ビジョン掲載事業		帯広版インターンシップマニュアルの検討		
①事業概要		十勝型インターンシップを実践する上で、高校生に各企業での新商品開発、販売、コスト計算など経済活動そのものを実践してもらうための効果的なマニュアルを作成する。		
②事業主体		帯広市（一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部へ委託）		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,499千円		
	平成22年度決算	2,499千円		
	平成23年度決算	2,499千円		
	平成24年度予算	2,000千円		
④事業の目的・成果		勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ることができるインターンシップに有効に活用してもらう。		
⑤事業の到達状況		平成23年度は13校、52名の高校生・短大生・専門学校生が参加し、勤労観、職業観の醸成が図られた。（平成23年度は18社からインターンシップ受入協力を得た） インターンシップを効果的に実施するため、マニュアルとして、企業の仕組みや業種、職種の解説、就職までのプロセスをまとめた「会社研究ハンドブック」（事業委託先の中小企業家同友会とかち支部が作成）を活用している。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		高校生のみから、専門学校生、短大生へもインターンシップ事業へ参加してもらい、年齢の異なる学生同士の交流を図り、意識的な相乗効果を図る。（平成23年度からの取り組み）		

2-9

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	小原
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑧担い手の育成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		14 インターンシップ事業の充実強化		
ビジョン掲載事業		十勝型インターンシップの実践		
①事業概要		インターンシップマニュアルを活用した十勝型インターンシップの実践として、高校生に各企業での新商品開発、販売、コスト計算など経済活動そのものを実践してもらい、勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ってもらう。		
②事業主体		帯広市（一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部へ委託）		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,499千円		
	平成22年度決算	2,499千円		
	平成23年度決算	2,499千円		
	平成24年度予算	2,000千円		
④事業の目的・成果		インターンシップを通じて、勤労観や働くことの意味を考え、地域の中小企業の業種・業務の内容を知ることができる。		
⑤事業の到達状況		平成23年度は13校、52名の高校生が参加し、勤労観、職業観の醸成が図られた。（平成23年度は18社からインターンシップ受入協力を得た） 【再掲】		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		高校生のみから、専門学校生、短大生へもインターンシップ事業へ参加してもらい、年齢の異なる学生同士の交流を図り、意識的な相乗効果を図る。（平成23年度からの取り組み） 【再掲】		

2-10

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	小原
施策の基本方向		2産業人・担い手の育成		
基本施策		⑩雇用の確保	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		17 シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり		
ビジョン掲載事業		高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と情報提供の仕組み作成		
①事業概要		専門的知識や技術を持つ高年齢者に就業機会を提供するため、資格習得に必要な講習を実施するなど、シルバー人材センターの機能充実を図るとともに、技能・資格等を持つ高年齢者の情報提供を行う仕組みをつくる。		
②事業主体		帯広市、シルバー人材センター		
③市が支出している金額	平成21年度決算	9,500千円		
	平成22年度決算	9,500千円		
	平成23年度決算	8,800千円		
	平成24年度予算	8,800千円		
④事業の目的・成果		シルバー人材センターが開催している講習会について、資格習得に必要な講習会等を実施することにより充実が図られ、専門的知識・技術を持つ高年齢者に就業機会を提供することができる。また、技能・資格等を持つ高年齢者の情報をデータベース化し、企業等へ情報提供することにより、受注拡大と求人開拓につながる。		
⑤事業の到達状況		平成23年度は会員838名の内715名が就業。(就業率85.3%) 個々の会員の技能・資格はデータベース化されており、シルバー人材センターが受注した仕事の振り分けを行っている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		シルバー人材センターが実施している各種講習会の内容をより充実させることで、より多くの高年齢者に就業機会を提供し、シルバー人材センターの機能充実を図る。		

3-1

事業シート（概要説明書）			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	既存の機械電気技術、木工技術、塗装技術等の研究会や勉強会の充実(大学や試験研究機関との連携・技術力強化)		
①事業概要		毎週金曜日に十勝産業振興センターで開催しているリレーシーケンス研究会や、技術力強化のためのセミナー等の開催	
②事業主体		帯広市、十勝圏振興機構	
③市が支出している金額	平成21年度決算	275,642円(十勝圏振興機構分は除く)	
	平成22年度決算	170,544円(十勝圏振興機構分は除く)	
	平成23年度決算	134,205円(十勝圏振興機構分は除く)	
	平成24年度予算	0円	
④事業の目的・成果		ものづくりに必要な機械電気や木工等に関する勉強会への支援やセミナー等を開催し、技術者の技術力向上を図る。	
⑤事業の到達状況		H21年度は、空気圧基本動作実践セミナー(リレーシーケンス研究会)や電子納品実務者向け研修会開催(家具建具、電気工事技術者等)を開催。 H22年度は、商工会議所の補助事業を活用し実施したため、市では未実施。 また、毎年、十勝産業振興センターにより3次元CAD講習会等を開催。 H23年度は、工業ゼミナールとして家具の販路開拓についてセミナーを開催。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝産業振興センター等の相談業務や職業能力開発センターの事業の充実等を図る。	

3-2

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 竹川
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興	
基本施策		⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト ◎
(番号)展開事業		25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		希少技術継承支援	
①事業概要		実施事業なし。	
②事業主体			
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		地域の希少な技術を継承できる取り組みを進める。	
⑤事業の到達状況		未着手	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		後継者のいない個人商店などの技術を後世に引き継ぐための支援を実施。まずはその技術等の把握。	

3-3

事業シート（概要説明書）			
担当課名	工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	25 ものづくり技術力強化(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	専門的技術の習得や資格等の取得可能な専門コースのモデル実施		
①事業概要		帯広調理師専門学校、帯広コア専門学校において、フードコーディネーターの資格取得が可能。	
②事業主体			
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		専門的技術の習得や資格等の取得が可能な専門コースの設置。	
⑤事業の到達状況		帯広調理師専門学校は平成23年度、帯広コア専門学校においては平成24年度よりフードコーディネーター3級の資格が取得可能な食農ビジネスコースが設置された。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		帯広調理師専門学校や帯広コア専門学校、職業能力開発センター等関係機関と連携し、ものづくり技術の取得や、資格等の取得が必要な項目の選定を改めて実施。	

3-4

事業シート（概要説明書）			
担当課名	工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	26 ものづくり相談・支援(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	ものづくり総合支援補助金の機能充実(産業支援機構や中小企業総合相談機能との連携)		
①事業概要		中小企業者等が新製品開発、新事業新分野への進出、ベンチャー起業する場合など、製品開発から技術指導、アドバイザー紹介や開発後のフォローアップまでを総合的に支援し、地域産業の活性化・発展を図るもの。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算	6,000千円	
	平成22年度決算	6,000千円	
	平成23年度決算	4,190千円	
	平成24年度予算	6,000千円	
④事業の目的・成果		ものづくり総合支援補助金を通じ、ものづくりを進める企業への技術開発、技術改善等の相談、支援機能を充実することで、企業側のリスクを軽減し、新規事業への取り組み意欲の向上や、きっかけづくりを図る。	
⑤事業の到達状況		平成22年度ものづくり総合支援補助金 補助件数11件 平成23年度ものづくり総合支援補助金 補助件数9件(うち補助事業辞退1件) 平成24年度ものづくり総合支援補助金 補助件数7件	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		産業支援機構や中小企業総合相談機能と連携することで、新製品開発の支援を強化する。 H24年度は海外へ向けた販路調査、開拓事業と連携を図り、海外事業展開等にも支援できるようにした。	

3-5

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		21 産業支援機能の充実		
ビジョン掲載事業		アドバイザー等によるものづくり相談会の実施、紹介		
①事業概要		十勝事業化支援委員会のアドバイス、目利き機能を活用し、平成22年度より、帯広市ものづくり総合支援補助金の審査を実施している。		
②事業主体		帯広市、十勝圏振興機構 他		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
	平成23年度決算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
	平成24年度予算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
④事業の目的・成果		ものづくり相談・支援による産業支援機能を効率的に活用し、スピーディーで柔軟な企業の商品開発の支援に取り組む		
⑤事業の到達状況		ものづくり総合支援補助金の審査、及び成果報告時において、事業化支援委員からの企業へのアドバイス等を行っており、H22 11件、H23 9件、H24 7件がアドバイスを受けている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		H24年度、ものづくりを行う企業への支援を充実するため、同委員会にデザインやマーケティングなどもコーディネートできる人材を配置した。		

3-6

事業シート（概要説明書）				
担当課名		産業連携室	担当者名	山本
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑪地域資源活用・農 商工等連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		20 アグリ・フード・バイオ関連産業振興(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		農産物付加価値向上、地域特性をいかしたクラスター化、地域ブランド向上等を目的としたアグリ・フード・バイオクラスター事業の展開（国の食料産業クラスター事業等の導入による総合的な食関連事業の展開）		
①事業概要		食や農林漁業など、地域の特徴・優位性を生かした産業振興を、オール十勝で推進する。（フードバレーとかちの推進）		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円（帯広市食産業振興協議会負担金）		
	平成22年度決算	2,500千円（帯広市食産業振興協議会負担金）		
	平成23年度決算	7,795千円 （帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金）		
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		フードバレーとかちの推進により、地域の特性や優位性を活かした産業振興を行う。		
⑤事業の到達状況		○フードバレーとかちを十勝一丸となって取り組むため、管内の市町村、関係団体、試験研究機関などで構成される「フードバレーとかち推進協議会」を設置した。（H23.7） ○フードバレーとかちの基本方向や展開方策などを示した「推進プラン」「戦略プラン」を策定した。（H24.3） ○フードバレーとかちの周知を図るため、ロゴマークを公募・決定した。（H23.9） また、フードバレー講演会の開催やホームページ、タウン誌などにより情報発信を行った。 ○食品加工などを中心に十勝の企業同士の「マッチング事業」を実施した。 ○十勝管内19市町村が、国際戦略総合特区として指定を受けた。（H23.12）		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		フードバレーとかちをオールとかちで取り組む枠組が構築されたことから、今後は、この枠組みを活用して、19市町村が地域の課題等を共有しながら、連携した取り組みを進める必要がある。		

3-7

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	上川原
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		企業訪問等による情報交換		
①事業概要		各企業の課題等を把握するため、商工観光部では100社目標のヒアリングを実施。このほか、産業連携室でも食を中心に企業訪問を強化		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		積極的な企業訪問等による情報交換を行い、企業の技術的な課題等の解決を支援する。		
⑤事業の到達状況		商工観光部では、平成24年3月末現在で延べ121社の訪問を実施。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		今後とも積極的な企業訪問を実施し、課題把握等に努める。		

3-8

事業シート(概要説明書)				
担当課名		工業労政課	担当者名	上川原
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		都市エリア産学官連携促進事業(発展型)の実施 (現:地域イノベーション戦略支援プログラム)		
①事業概要		平成21年6月より5ヵ年の計画で採択された文部科学省都市エリア産学官連携促進事業(発展型)により、食の機能性・安全性に関する高度な技術開発とその事業化を行い、地域産業の持続的な発展に寄与するアグリ・バイオクラスターの形成を最終目的に取り組む。		
②事業主体		(提案自治体)北海道、帯広市 (中核機関)財団法人十勝圏振興機構		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,000,000円		
	平成22年度決算	1,963,522円		
	平成23年度決算	1,999,308円		
	平成24年度予算	2,000,000円		
④事業の目的・成果		大学や試験研究機関の研究成果の幅広い活用のため、国等の支援制度を導入して地域の取組みを進める。		
⑤事業の到達状況		○定量的目標(当初～平成25年度末まで) ・製品化 32件 ・試作 35件 ・特許出願及び取得 26件 ・起業 1件 ・品種登録 1件 事業成果による商品売上見込(H25年度末) 18,000,000円 ○平成24年3月現在までの実績 ・製品化 15件 ・試作 27件 ・特許出願及び取得 8件 ・起業 1件 ・品種登録 0件 ・事業による収入14,735,469円		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		機能性素材(ベタイン、イヌリン等)の抽出技術、品質特性については研究が進んでいるため、更なる企業へのPR・活用促進が必要。イヌリンを抽出しているチコリの栽培・普及・収穫機の開発などの実施については、関係機関と連携して取り組む。食品検査ラボの一般運用の体制整備、コンサルティング業務運営の検討。公定法に代わる簡易かつ迅速な食中毒菌等検査方法の確立に向けたエビデンスの蓄積。付加価値向上のためのブランド化戦略「とかち元気食」の展開。		

3-9

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		十勝事業化評価委員会(産学官金連携)の充実		
①事業概要		技術開発からマーケティングまでの様々なジャンルの産学官の専門家で構成する「十勝事業化支援委員会」が平成19年度に帯広畜産大学、22年度からとかち財団を事務局に運営中。 企業のビジネスモデル審査の実証実験を行い、金融機関の目利き機能の補完、企業のビジネスプラン作成へのアドバイスを図る。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
	平成22年度決算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
	平成23年度決算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
	平成24年度予算	(とかち財団への負担金2, 550, 000円の内数)		
④事業の目的・成果		十勝事業化支援委員会の充実を図ることで、地元事業者のビジネスプランの内容の向上、事業化を図る。		
⑤事業の到達状況		とかち財団への支援を行うとともに、「十勝事業化支援委員会」の帯広市ものづくり総合支援補助金要望事業に対する意見聴取を行うなど活用を図っている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		現在、帯広市ものづくり総合支援補助金においては事業前のプレゼン会や事業実績報告において意見聴取を行っている。H24年度委員の改選に伴いマーケティングやデザインもコーディネートできる人材を配置した。		

3-10

事業シート（概要説明書）			
担当課名	工業労政課	担当者名	笠原
施策の基本方向	3ものづくり産業の振興		
基本施策	⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	22 産学官連携(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づく協議会等の設立、研究成果活用連絡会議、情報交流サロンなどの開催ほか		
①事業概要		帯広リサーチ&ビジネスパーク構想に基づき地域の産学官の関係機関で組織する協議会を設置、また、とかち財団を通じて、地域で実施されている研究成果の活用や関係者による情報交流の場を開催。大学の研究を加速する基金の創設を検討する。	
②事業主体		帯広市、とかち財団	
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,550千円	
	平成22年度決算	2,550千円	
	平成23年度決算	2,550千円	
	平成24年度予算	2,550千円	
④事業の目的・成果		地域ニーズを踏まえた産学官の連携を進め、大学等と連携した産学連携集積の形成を進める。	
⑤事業の到達状況		国の拠点地域指定を目指し、帯広地域産学官連携会議を平成21年7月に設置した。しかし、政権交替、事業仕分け等により、国の制度が変更されたことから、産学官連携の取組みは、現在、地域イノベーション戦略支援プログラムをはじめとする産学官連携事業のほか、「フードバレーとかち」の実現に向けた一つの手段として取組んでいる。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		「フードバレーとかち」の実現のための一手法として産学官連携の強化に努める。	

3-11

事業シート（概要説明書）				
担当課名		産業連携室	担当者名	山本
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑪地域資源活用・農 商工等連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		19 地域産業資源活用促進		
ビジョン掲載事業		地域資源活用の手法について学ぶ場を提供し、地域資源を有する側と活用する側を結び付けるための事業の実施		
①事業概要		地域資源を活用した商品開発の取組支援や、セミナー、マッチング事業などを行う。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円(帯広市食産業振興協議会負担金)		
	平成22年度決算	2,500千円(帯広市食産業振興協議会負担金)		
	平成23年度決算	7,795千円 (帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金)		
	平成24年度予算	5,055千円 (帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金)		
④事業の目的・成果		地域資源の高付加価値化や、地域資源を有する側と活用する側を結びつけることにより、新たな取組や商品開発を促進する。		
⑤事業の到達状況		帯広市食産業振興協議会の取り組みを通じ、十勝産小麦の利用促進や付加価値向上のため、著名なシェフを招いたパンづくり講習会や有識者によるセミナーの開催、十勝産小麦を使った料理の試食会の開催など、広く一般への普及拡大を図った。また、十勝産小麦を使った商品開発を希望する企業への支援を行い、商品化につなげた。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝産小麦の利用促進・高付加価値化は一定の成果が得られたが、今後は小麦以外の地域資源の活用、また帯広市だけではなくオール十勝で取組を進めていく必要があることから、フードバレーとかちを推進する中で、こうした取り組みも進めていく。		

3-12

事業シート（概要説明書）				
担当課名		産業連携室	担当者名	山本
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑪地域資源活用・農工商等連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		19 地域産業資源活用促進		
ビジョン掲載事業		地域資源活用情報交流事業の庁内検討		
①事業概要		地域資源を活用した商品やイベント等の情報を、メールマガジンを発信		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	1,000千円（帯広市食産業振興協議会負担金）		
	平成22年度決算	2,500千円（帯広市食産業振興協議会負担金）		
	平成23年度決算	7,795千円 （帯広市食産業振興協議会、フードバレーとかち推進協議会負担金）		
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		情報発信を通じ、地域資源を活用したい企業同士のマッチング、取組成果のPRを図る。		
⑤事業の到達状況		○ メールマガジンによる情報発信 帯広市食産業振興協議会において平成21年度よりメールマガジンを発行していたが、フードバレーとかち推進協議会で新たに十勝の「食」や「農林漁業」に係る情報を発信するメールマガジンを立ち上げたことから、本年1月に統合を行った。平成23年度のフードバレーとかち推進協議会のメールマガジンの発行数は15件、1回につき200名以上に情報発信している。 ○ ホームページによる情報発信 フードバレーとかち推進協議会ホームページを平成23年12月に開設し、十勝の「食」や「農林漁業」に関する情報発信を行なった。 掲載内容は企業や団体などから幅広く寄せられ、平成23年度末までの記事掲載件数は64件、アクセス数は10,382件となっている。 また、同ホームページではフードバレーとかちの主旨に賛同していただける企業を「フードバレーとかち応援企業」として掲載しており、平成23年度末時点で64件の企業が掲載されている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		企業や団体から寄せられた情報をホームページやメールマガジンで発信する仕組みが整ってきているので、今後は地元だけでなく、道内外へ十勝の情報を効率的に発信していく方法を検討する必要がある。		

3-13

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	笠原
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑫産学官連携の推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		21 産業支援機能の充実		
ビジョン掲載事業		十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の技術指導や製品化支援活用のPR		
①事業概要		十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置に関する技術指導や、製品化支援への活用について、ものづくり総合支援補助金の周知や事業実施に合わせてPRを行う		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械装置の利活用促進を図る。 十勝産業振興センター機器利用 H21 159件、H22 116件、H23 63件 食品加工技術センター機器利用 H21 265件、H22 440件、H23 268件		
⑤事業の到達状況		十勝産業振興センター、食品加工技術センターともに利用が減っている。 機器利用について、さらなるPR等利用促進が必要。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		ものづくり総合支援補助金を活用した新製品開発等にあたり、センター設置機器の利用促進を促すなど、様々な機会を通じたPRを実施する。		

3-14

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		23 地域産業コーディネート		
ビジョン掲載事業		地域の優位産業の分析、クラスター形成に資する事業検討、各事業への展開(見直し含む)		
①事業概要		平成23年度テスト事業として、「食品関連企業＆鉄工関連企業マッチング会」、北海道中小企業家同友会とかち支部との共催で「十勝マッチング」を開催。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		地域の優位な産業を分析し、その結果を活用してクラスター形成に資する事業の検討を進める。		
⑤事業の到達状況		地域の優位性ある食関係企業と技術力を有する地場鉄工業が結びつきを強めるきっかけづくりができた。今後も企業が持っているニーズに合わせ、シーズ側、ニーズ側それぞれの企業の発掘とマッチング事業を継続する。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		企業訪問等により、各企業が持っているシーズ、ニーズの発掘強化。		

3-15

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 鎌田
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興	
基本施策		⑬産業クラスターの形成	重点プロジェクト
(番号)展開事業		24 大規模化へ頑張る工房支援	
ビジョン掲載事業		食品・木工・金属等の懇談会の設置、ものづくり相談・支援・ものづくり技術力強化、中小企業支援	
①事業概要		平成23年度に、家具の販路開拓に係る工業ゼミナール、テスト事業として、「食品関連企業&鉄工関連企業マッチング会」を実施。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		技術力を持つが、営業人材などの経営資源を持たない、小規模事業所が、受注の拡大や大規模化を目指し、頑張る企業への支援を検討する。	
⑤事業の到達状況		平成23年度に、家具の販路開拓に係る工業ゼミナール、テスト事業として、「食品関連企業&鉄工関連企業マッチング会」を実施。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		地元産業界での技術向上、販路拡大を目的とし、企業マッチングを通じて新しい技術を拾い上げ、ものづくり総合支援補助金での支援や技術力研究会・講習会等を実施する。	

3-16

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		27 市場開拓・販路拡大		
ビジョン掲載事業		十勝のストーリーづくり検討会の設置、十勝を総合的にプロデュースする活動		
①事業概要		「十勝(とかち)」のイメージを更にアピールするため、ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取り組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取り組みを進める。		
②事業主体		産業振興会議 十勝のストーリー作り検討小委員会(ブランド研究会)		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算	72千円		
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		地域ブランド化を進め、「十勝」のイメージを更にアピールするため、開拓からの歴史を踏まえたストーリーの創出などによる、更なる首都圏等へのPRを実施するとともに、十勝を総合的にプロデュースする活動を進める。		
⑤事業の到達状況		平成21年度より特許庁の知的財産活用支援連携モデル事業の採択を受け、産業振興会議に小委員会を設け、商標の取得、またそれを用いたブランド化のマニュアル(ブランドショーケース)を作成した。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		商標の活用方策・使用基準等の検討、ストーリー作りとこの取り組みを活かす方策の検討。なお、平成24年度には、帯広十勝地域産業活性化協議会事業として、在京企業に十勝の産業等についてPRする活動を展開。		

3-17

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	上川原
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興		
基本施策		⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		27 市場開拓・販路拡大		
ビジョン掲載事業		域外展示会や物産展への出展支援		
①事業概要		特色ある製品をもつ地域企業を域外企業との継続的なBtoBの新規取引につなげるため、多面的なアプローチで販路開拓を支援する。一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）などのネットワークを活用し、東アジア及び首都圏への販路開拓を支援。また十勝として開催する物産展等の支援を行う。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算	4,542,780円		
	平成23年度決算	7,707,590円		
	平成24年度予算	3,040,000円		
④事業の目的・成果		人口減少による国内市場の縮小から、新たに市場開拓・販路拡大が迫られており、展示会や物産展等への出展を支援することで、地域企業の持続的な展開を支援する。		
⑤事業の到達状況		首都圏販路開拓事業では、H21年度より毎年複数社を対象に実施し、新規商談、人的ネットワークの開拓、新商品開発につながっている。海外販路開拓支援事業では、H22年度より中国上海との継続的な関係性を築き、H23年度は、中国上海要人を帯広へ招聘及び、地元企業4社参加の上海ミッションを実施し、現地にてビジネスマッチング、実演販売を実施。いずれも商品も好評で、現地バイヤーからの引き合いもある状況。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		海外展開の知識や情報の共有、ネットワーク化を図るため、平成23年度に「十勝海外ビジネス研究会」を設置。平成24年度には、支援機関の情報共有を目的とし、「十勝海外展開連絡会議」の実施。		

3-18

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 笠原
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興	
基本施策		⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト
(番号)展開事業		28 とかちブランド育成	
ビジョン掲載事業		十勝地域の複数の認証制度や認証機関の相互連絡調整、及び確立	
①事業概要		未着手	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		十勝地域に存在する複数の「認証機関」や「認証制度」の相互の連携と棲み分けについて検討する。	
⑤事業の到達状況		未着手	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		様々な機関でそれぞれの目的をもってブランド形成に向けた取り組みを進めており、情報交換の実施が必要。	

3-19

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 竹川
施策の基本方向		3ものづくり産業の振興	
基本施策		⑭地域ブランドの形成	重点プロジェクト
(番号)展開事業		28 とかちブランド育成	
ビジョン掲載事業		認証取得に対する優遇措置の検討、モデル実施	
①事業概要		未実施	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		認証機関又は認証制度、認証品がより価値のあるものとして確立される。	
⑤事業の到達状況		未実施	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		ものづくり総合支援補助金等の見直しに伴い制度化について検討する。	

4-1

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		企業立地法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施		
①事業概要		企業立地法に基づき制定した基本計画に規定する製造業や卸売業等の企業が新設や増設する場合に、新たに投資した土地、建物、設備機械等の固定資産税を3年間免除する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		帯広市への立地企業増加を目指し、企業立地促進法に基づく支援策を導入した。		
⑤事業の到達状況		PRをした結果、平成23年度に課税免除企業が8社となった。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		課税免除制度をはじめ、市の補助制度等をPRし、企業誘致や新たな設備投資を促進する。		

4-2

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		企業立地促進条例の見直し		
①事業概要		正社員雇用の場合の補助金額の増額や、低炭素社会促進加算や工場見学施設加算など、企業立地促進条例を拡充する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	100, 606千円		
	平成22年度決算	14, 487千円		
	平成23年度決算	43, 061千円		
	平成24年度予算	24, 418千円		
④事業の目的・成果		帯広市への立地企業の増加を目指し、平成21年度に帯広市企業立地促進条例を改正した。		
⑤事業の到達状況		条例改正に基づく支援策のPRに取り組んだ結果、平成21年度2件、平成22年度5件が対象となった。今後についても支援制度をPRをし、企業誘致や設備投資を促進する。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		企業立地補助金のほか、西20条北工業団地の販売促進のため工業団地立地奨励金について、平成23年度、24年度に限り補助対象に土地も加え、補助率を4％から8％に増加するなど拡充を図っている。 固定資産税の免除制度など合わせ、PRを図る。		

4-3

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進		
①事業概要		帯広十勝地域産業活性化協議会により、十勝地域への企業誘致PRを促進するため、東京での企業誘致フェアへの出展等を実施。		
②事業主体		帯広十勝地域産業活性化協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	559千円		
	平成22年度決算	558千円		
	平成23年度決算	559千円		
	平成24年度予算	559千円		
④事業の目的・成果		企業誘致を広域で進めるため、企業立地促進法に基づき1市6町で設置した協議会が一丸となって、支援策等をPRし、十勝への企業の立地を図る。		
⑤事業の到達状況		協議会の企業誘致活動としては、現時点で成果は上がっていない。H24年度は企業立地フェアに合わせ在京企業との情報交換会を実施し、十勝のPRと企業誘致を行う。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝の残る12町村で構成するとかち田園地域産業活性化協議会とともに、十勝一体となったPRを促進することで、各自治体が個別に行うよりも効果的に「十勝」をPRできることから、今後も活動を継続する。		

4-4

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化	
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト ◎
(番号)展開事業		33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		共同利用施設の必要性調査、検討	
①事業概要		未着手	
②事業主体		帯広市 他	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		自然エネルギー利用施設等、コスト負担が大きい設備については、地元企業が共同で利用できる施設整備手法について検討する。	
⑤事業の到達状況		未着手	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		共同利用施設の内容や設置場所、財源等、課題が多い中で、企業ヒアリング等を通じ、必要性について調査を進める。	

4-5

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		33 企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		とかち応援団のネットワーク化		
①事業概要		平成22年度に関西帯広会、東京帯広会への帯広市の産業情報の提供等を実施したほか、平成23年度はフードバレーとかちサポーターズが組織された。		
②事業主体		帯広市 他		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		帯広・十勝の出身者や帯広・十勝に居住経験のある人など、帯広、十勝にゆかりのある人をネットワークすることにより、関係機関と協力し企業誘致など地域の活性化に向けた取組を推進する。		
⑤事業の到達状況		「フードバレーとかち」を応援いただける企業等の有志により「フードバレーとかちサポーターズ」が結成されるなど、帯広十勝に注目が集まってきている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝、帯広にゆかりのある人達のネットワーク化、及びそのネットワークを活用した企業誘致等について、さらに手法等を検討する。なお、平成24年度には、帯広十勝地域産業活性化協議会事業として、在京企業に十勝の産業等についてPRする活動を展開。		

4-6

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)		
①事業概要		十勝圏地域食品加工技術センターに平成22年度、新たな機器の整備や、地域プロジェクト等を活用した帯広畜産大学における検査ラボなどの整備などが進められている。		
②事業主体		帯広市、とかち財団		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		大学や試験研究機関などが持つ「知の機能」を有効に活用し、時代に即したハード、ソフト面からの新たな産業支援機能整備について検討する。		
⑤事業の到達状況		農産物等の地域資源を積極的に活用することで更なる集積が期待できる業種であることから、集積に必要な環境整備として、小麦粉の加工関連の施設が十勝圏地域食品加工技術センターについて整備されたほか、地域イノベーション戦略支援プログラム(都市エリア型)で実施してきた事業の成果として、より安全、安心な食に対してお墨付きを与える検査ラボの整備が進められているが、まだこれを活用した企業の立地はない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		「フードバレーとかち」を推進する中で、試験研究機関のこうした機能や国際戦略総合特区の支援措置等をPRしながら企業誘致を促進する。		

4-7

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	鎌田
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		31 産業集積に関する検討(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		食料品関連産業、機械金属関連産業、環境・リサイクル関連業種の集積に関する検討		
①事業概要		帯広市企業立地促進条例の改正により、低炭素社会推進加算などの創設や、固定資産税免除等により支援制度を拡充。さらに西20条北工業団地の奨励金制度を改正し集積を図っている。		
②事業主体		帯広市 他		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		地域特性や強みを生かした産業をより一層集積していくため、食料品関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業などの集積に必要な支援などについて検討し、これら関連業種の集積を図ることを目的としており、立地企業数はH21～H24. 5月現在で、条例、奨励金対象企業数は10社となっている。		
⑤事業の到達状況		円高や設備投資意欲の減退もあり、思い通りの立地には至っていない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		「フードバレーとかち」の推進をはじめ、帯広十勝の優位性などをPRすることと、企業立地補助金や固定資産税免除、工場立地奨励金等の支援制度をPRしながら、企業立地の促進に努める。		

4-8

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		35 産業立地環境の整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)		
①事業概要		環境をキーワードとした用地造成手法の先進事例の調査を平成22年度実施		
②事業主体		帯広市 他		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		企業立地環境の整備や産業用地の確保について検討を進める。		
⑤事業の到達状況		手法についての参考事例の調査にとどまっており、新たな用地確保のめどは立っていない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		西20条北工業団地については、1万㎡を超えるような大規模用地がないことから、新たな工業用地の確保について、庁内関係部と連携を進めながらさらに検討を行う。		

4-9

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名 鎌田
施策の基本方向		4産業基盤の強化	
基本施策		⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト
(番号)展開事業		29 産業集積誘導のための交流連携	
ビジョン掲載事業		産業集積誘導のための交流連携事業の実施	
①事業概要		大手企業と中小企業の情報交換会的な会合を開催する方向で検討中(実施時期未定)	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		食料品関連産業や機械・金属関連産業、環境・リサイクル産業などの集積が進みつつあることから、これら関連産業の集積を誘導するため、大手企業と中小企業の交流や連携を促進する。	
⑤事業の到達状況		未実施	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		誘致企業と地場企業の交流を行うことで、企業誘致につながる効果的な手法を検討する	

4-10

事業シート（概要説明書）				
担当課名		工業労政課	担当者名	竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑮産業基盤の強化	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		30 工業用公共料金に係る負担軽減の検討		
ビジョン掲載事業		工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体の制度を参考に検討)		
①事業概要		水道をはじめ工業用公共料金の負担軽減について、周辺自治体や道内自治体等の制度を参考に検討する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		水道等、工業用公共料金の負担を軽減することで、水を大量に消費する食料品製造業等の負担軽減、生産性の向上につなげ、食産業を中心とした企業の集積を図る。		
⑤事業の到達状況		現在、上下水道料金が使えば使うほど高くなる逓増制をとっていることから、そうした実態の解消が可能かどうか上下水道部から状況を聴取。水道料金については、料金表の見直しが施行済みであり、公平な負担の観点からは特定の業種の優遇は現状難しいとの見解を得ている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		水道料金自体の見直しは現段階で困難な状況であることから、独自の補助制度等による支援策の実施が可能かどうか研究中。		

4-11

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		4産業基盤の強化		
基本施策		⑩交通ネットワークの活用	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		32 道央圏、道東圏への商圈拡大PR		
ビジョン掲載事業		道央圏、道東圏への商圈拡大やPRの取組みに対する支援		
①事業概要		平成23年10月29日に北海道横断自動車道の道央圏-十勝圏間が全線開通し、交通ネットワークが改善したことから、道央圏はもとより道東圏に、帯広・十勝の魅力を発信し商圈を拡大する取り組みについて支援する。		
②事業主体		帯広物産協会、とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	15, 344千円		
	平成22年度決算	17, 234千円		
	平成23年度決算	17, 234千円		
	平成24年度予算	17, 479千円		
④事業の目的・成果		北海道横断自動車道の開通による交通ネットワークの改善を活かし、道央圏、道東圏に帯広・十勝の魅力を発信し、商圈を拡大する。		
⑤事業の到達状況		道央圏、道東圏で開催された食のイベントにオール十勝で出展し、十勝の食の魅力をPRした。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		道央圏、道東圏における食のイベントの開催 道央圏、道東圏での物産展やバイヤーとの商談会の実施		

4-12

事業シート（概要説明書）			
担当課名		工業労政課	担当者名
			竹川
施策の基本方向		4産業基盤の強化	
基本施策		⑰企業立地の促進	重点プロジェクト
(番号)展開事業		36 食料品製造業集積支援機能の検討	
ビジョン掲載事業		食料品製造業集積支援機能の検討(技術者の養成や資格取得を支援する仕組みの検討)	
①事業概要		十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業の実施により、食料品製造業に関係する人材を養成するといった観点による取組みを実施しているほか、帯広高等技術専門学院等との意見交換を行っている。	
②事業主体		帯広市、帯広畜産大学	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算	6,500千円	
④事業の目的・成果		地域の職業高校や大学、専門学校、技術技能育成機関などと連携して、食肉等の食料品製造業を支える技術者養成や資格取得を支援する仕組みについて検討し、関連業種の立地を促進する。	
⑤事業の到達状況		帯広高等技術専門学院において、食肉の技術者養成学科等の可能性について意見交換をしたが、実現にはいたっていない。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		市内の人材養成機関、関係機関との連携を深め、様々な角度からその可能性について引き続き研究する。また、平成24年度は、帯広畜産大学との共同事業として、地域の経済発展に向けてリーダーシップを発揮する人材育成を目的とした「フードバレーとかち人材育成事業」を実施する。	

5-1

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地産地消の推進・PR		
①事業概要		旬の地場食材で料理を提供する飲食店のネットワーク化による地産地消に取り組む。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		地場食材を提供する飲食店を増加させ、食観光に結びつけるとともに地産地消を推進する。		
⑤事業の到達状況		地場食材を提供する飲食店のネットワーク化に至っていない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		地場食材を提供する飲食店のネットワーク構築に向け飲食店経営者による情報交換を実施する。		

5-2

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		産業観光推進会議の設立・モデルルート検討		
①事業概要		特徴的な農作業や食品加工現場の視察、体験、試食を通じた産業と観光を結びつけたモデルルートづくりに取り組む。		
②事業主体		帯広市、十勝観光連盟		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算	10, 437千円(緊急雇用創出事業)		
	平成24年度予算	1, 873千円(緊急雇用創出事業)		
④事業の目的・成果		農作業や食品加工現場の視察、体験、試食などを組み入れた滞在型観光モデルルートの造成		
⑤事業の到達状況		平成23年度に十勝観光連盟と連携し、体験・見学施設・観光ガイドを発行するなど、体験観光ルートの造成を促進した。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		農作業や食品加工現場の視察、体験が可能な箇所の調査、発掘		

5-3

事業シート（概要説明書）			
担当課名		観光課	担当者名 加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興	
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト ◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)	
ビジョン掲載事業		とかちグルメ市の開催	
①事業概要		食のメッセにつながる食と物産の新たなイベントの実施	
②事業主体		帯広市、とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算	5, 000千円	
④事業の目的・成果		オール十勝の食と物産を集めたイベントを開催し、管内外に十勝の食をPRする。	
⑤事業の到達状況		平成22年度、23年度にオール十勝の食のイベントを開催。 平成24年度はフードバレーとかちをPRする食のイベントを開催する。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		道東道が開通したことから道央圏からの観光客誘致につなげていく。	

5-4

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		街めぐりチケットの発行		
①事業概要		花、菓子のほか、飲食、温泉、体験などの要素も取り入れた街めぐりチケットの発行		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		十勝の観光施設を割安に利用できるとともに、知名度の低い観光施設への誘導効果や滞在型の周遊観光を推進できる。		
⑤事業の到達状況		民間団体、観光協会などで、ガーデンやスイーツ、温泉などの種類ごとのチケットが発行されている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		各種チケットの統合に向けた検討		

5-5

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		ふるさと宅配便事業		
①事業概要		十勝で採れる旬の農畜産物や加工品などを宅配便で注文できる仕組みづくり		
②事業主体		帯広物産協会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	300千円		
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		十勝の旬の農畜産物や加工品を取り寄せる仕組みをつくることにより、十勝の農畜産物の流通を促進する。		
⑤事業の到達状況		帯広物産協会のHPである十勝市場から十勝の農畜産物などを発送している。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝市場の利用増に向けた周知		

5-6

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		アンテナショップの拡充		
①事業概要		十勝の旬の農畜産物や加工品を販売するアンテナショップの拡充		
②事業主体		帯広市、帯広物産協会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	14, 144千円		
	平成22年度決算	16, 034千円		
	平成23年度決算	16, 034千円		
	平成24年度予算	16, 034千円		
④事業の目的・成果		十勝の旬の農畜産物や加工品を取り扱うアンテナショップを拡充し、十勝の農畜産物の流通を促進する。		
⑤事業の到達状況		現在、JR帯広駅にとかち物産センターを開設しているが、道央圏や首都圏へのアンテナショップの拡充には至っていない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		北海道のアンテナショップの利活用の検討		

5-7

事業シート（概要説明書）			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	37 食観光・産業観光推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	帯広版ミシュランガイドの発行		
①事業概要		民間を主体とした(仮称)「帯広版ミシュランガイド」の発行	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		十勝の食観光を推進するため話題性のある飲食ガイドを発行することで観光客誘致を推進する。	
⑤事業の到達状況		帯広観光コンベンション協会と連携して飲食ガイドブックや豚丼マップを発行しているが、帯広版ミシュランガイドの発行には至っていない。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		話題性のある飲食ガイドの内容の検討	

5-8

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		38 総合観光情報提供(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		総合観光情報サイトの構築		
①事業概要		行政や観光協会だけでなく、民間主体の情報サイトを取り入れた総合的な観光情報サイトを構築する。		
②事業主体		帯広観光コンベンション協会		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		行政だけでなく観光施設など民間の情報サイトを取り入れることにより、十勝の魅力を調べやすくなり、観光客の増加につながる。		
⑤事業の到達状況		帯広観光コンベンション協会のホームページの充実により、アクセス数が向上し、一定の効果が図られている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		更なる民間の情報サイトとのリンクによる内容の充実		

5-9

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバンの実施		
①事業概要		道央圏や首都圏、東アジア地域など海外を含めた国内外での官民一体となった誘致宣伝活動や誘客を促進する取り組みを強化する。		
②事業主体		帯広市、とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会、とかち首都圏プロジェクト推進協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算	3, 611千円		
	平成22年度決算	8, 611千円		
	平成23年度決算	6, 411千円		
	平成24年度予算	6, 323千円		
④事業の目的・成果		道内、首都圏、東アジア地域への誘致宣伝活動を実施することで観光客誘致を促進する。		
⑤事業の到達状況		平成22年度から道東道の開通に向けた道央圏でのプロモーションや中国観光プロモーションを実施したほか、官民挙げて台湾プロモーションを実施するなど国内外に十勝の魅力を発信している。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		道東道の開通後のPRとして道央圏、首都圏でのプロモーションを継続する。国際チャーター便の誘致に向け、東アジアへのプロモーションを継続する。		

5-10

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		39 観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施		
①事業概要		映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致し、ロケ地観光を推進する。		
②事業主体		帯広市、とかちフィルムコミッション連絡協議会		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		映画、テレビ、CMなどのロケーション撮影を誘致することで十勝・帯広の知名度の向上及び観光地をPRし、観光客の増加を図る。		
⑤事業の到達状況		映画、テレビ、CMなどの撮影時にエキストラの募集や許認可手続きなどの協力を行っている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		映画やテレビの撮影場所をまとめたパンフレットの作成		

5-11

事業シート（概要説明書）			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業	42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)		
①事業概要		ばんえい競馬を主体とした市内の観光施設を活かし、恋人の聖地となった幸福駅周辺に飲食、農畜産物、土産物品販売などの魅力的な観光拠点施設を整備する。	
②事業主体		帯広市、(株)SPCとかちむら	
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,494千円	
	平成22年度決算	38,840千円	
	平成23年度決算	38,937千円	
	平成24年度予算	38,138千円	
④事業の目的・成果		恋人の聖地である幸福駅に食の魅力を加えることにより複合的な観光拠点施設を整備し、観光客の誘致を図る。	
⑤事業の到達状況		幸福駅周辺の整備は、所有者である地域との整備方針の検討中である。なお、観光交流拠点施設としては、平成22年8月に帯広競馬場にオープンしたとかちむらの整備を支援したところである。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		幸福駅の複合的な整備に向け、地域との協議を進めていく。	

5-12

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		42 幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト)		
ビジョン掲載事業		景観と食のスポット起業化・立地誘導		
①事業概要		景観と食を満喫できる場所づくりとして、ファームレストランや農村カフェなどの起業化を誘導する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		ファームレストランなどの起業化を誘導することで十勝の最大の魅力である景観と食を売り込み観光客の誘致を図る。		
⑤事業の到達状況		ファームレストランや農村カフェにメディアや旅行エージェントに訪問してもらい、雑誌への掲載や観光客の誘致を推進することにより、新たな起業化の誘導施策を図っている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		ファームレストランや農村カフェの紹介冊子の発行によるPR		

5-13

事業シート（概要説明書）			
担当課名		観光課	担当者名 加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興	
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト
(番号)展開事業		40 移住促進・移住体験	
ビジョン掲載事業		プチ留学体験プログラム事業	
①事業概要		ライフスタイル型の体験事業を通じ、滞在期間中に各種資格を取得したり、生涯の趣味を見出していける「プチ留学体験プログラム」を開発提供するとともに、長期滞在にお得な宿泊施設の斡旋、紹介をする。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		プチ留学体験プログラムの開発、安価で長期滞在可能な宿泊施設の斡旋により、移住体験者を増加させ、最終的には移住者の増加を図る。	
⑤事業の到達状況		安価で長期滞在可能な宿泊施設の斡旋を行っている。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		宿泊施設の調査やプチ留学体験プログラムの検討	

5-14

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑱集客交流産業の振興	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		41 観光「人財」育成		
ビジョン掲載事業		観光プロデュース人材の養成		
①事業概要		観光振興の地域プロデュース推進組織として、帯広観光コンベンション協会や十勝観光連盟の組織機能や人材育成の強化を図る。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	59, 836千円		
	平成22年度決算	97, 927千円(緊急雇用創出事業含む)		
	平成23年度決算	82, 472千円(緊急雇用創出事業含む)		
	平成24年度予算	68, 385千円(緊急雇用創出事業含む)		
④事業の目的・成果		帯広観光コンベンション協会及び十勝観光連盟の組織機能や人材育成の強化を図ることで、地域の観光振興を担える人材を養成する。		
⑤事業の到達状況		帯広観光コンベンション協会や十勝観光連盟と連携して職員研修を実施し、観光振興の担い手を養成している。また、平成22年度からは緊急雇用創出事業を活用し、地域観光の担い手の育成、発掘も行っている。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		人材育成のためのカリキュラムの構築		

5-15

事業シート（概要説明書）			
担当課名		観光課	担当者名
			加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興	
基本施策		⑩集客交流産業の振興	重点プロジェクト
(番号)展開事業		41 観光「人財」育成	
ビジョン掲載事業		シティガイド・ボランティアガイド育成事業・仕組みづくり	
①事業概要		ご当地検定資格を有するホテルやタクシー従業員や観光ボランティアガイドの育成を図り、観光客に利用してもらえる仕組みづくりを進める。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		ご当地検定資格を所持者や観光ボランティアガイドの育成を図り、地域のホスピタリティを向上させ、リピーターの増加を図る。	
⑤事業の到達状況		未着手	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		観光ボランティアガイドの活用・周知方法の検討	

5-16

事業シート（概要説明書）			
担当課名		観光課	担当者名 加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興	
基本施策		⑬拠点づくりの推進	重点プロジェクト
(番号)展開事業		43 まちの魅力再発見	
ビジョン掲載事業		まちの魅力再発見事業の実施	
①事業概要		市民や観光事業者を対象とした観光資源の探訪会などにより、まちの魅力再発見事業を実施する。	
②事業主体		とかちの魅力発信プロジェクト推進協議会	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		地域住民が十勝の魅力を検証、再発見することにより、観光客に対し、地域の魅力を具体的に伝えることが可能となる。	
⑤事業の到達状況		同協議会により地域の観光の魅力の検証、再発見事業を行い、観光事業者向けのガイドブックを作成、配布することで地域の魅力の再発見事業を実施した。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		地域の魅力の再発見に努め、広く周知していく。	

5-17

事業シート（概要説明書）			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑬拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	44 コンベンション誘致HQの設置		
ビジョン掲載事業	コンベンション誘致推進体制の強化		
①事業概要		コンベンション誘致に向けて観光関連団体を含めた情報収集と誘致推進体制の強化を図る。	
②事業主体		帯広市、帯広観光コンベンション協会、十勝観光連盟	
③市が支出している金額	平成21年度決算	3,300千円	
	平成22年度決算	3,300千円	
	平成23年度決算	3,300千円	
	平成24年度予算	3,300千円	
④事業の目的・成果		コンベンション誘致により集客型交流産業の活性化に効果が見込まれる。	
⑤事業の到達状況		帯広観光コンベンション協会内に「交流人口を増やす会」が設置され、コンベンション誘致に向けた取り組みを協議している。 十勝観光連盟と連携し、スポーツ合宿ガイドを作成するなど、コンベンション誘致に向けた取組みを進めている。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		コンベンション主催者に対する優遇措置の検討	

5-18

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑬拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		44 コンベンション誘致HQの設置		
ビジョン掲載事業		コンベンションセンター機能の調査検討		
①事業概要		都市規模にあった屋内コンベンションセンターの在り方について、民間の役割分担も含めコンベンション機能を検討する。		
②事業主体		帯広市、帯広観光コンベンション協会		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算			
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		コンベンションセンター機能の設置により、戦略的なコンベンション誘致が図ることができる。		
⑤事業の到達状況		未着手		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		他都市のコンベンションセンター機能の調査		

5-19

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑭拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		45 観光インフォメーション機能の充実		
ビジョン掲載事業		観光インフォメーション機能の充実		
①事業概要		交通結節点である駅や空港の観光案内所や観光案内板による観光インフォメーション機能を充実する。		
②事業主体		帯広市、帯広観光コンベンション協会、十勝観光連盟		
③市が支出している金額	平成21年度決算	24, 575千円		
	平成22年度決算	24,163千円		
	平成23年度決算	24, 656千円		
	平成24年度予算	26, 431千円		
④事業の目的・成果		駅や空港の観光案内所や観光案内板によるインフォメーションにより地域のホスピタリティを向上させ、リピーターの増加を図る。		
⑤事業の到達状況		帯広駅ととち帯広空港の観光案内所に加え、帯広競馬場内の馬の資料館に観光案内所を整備した。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		観光案内人及び観光施設従事者の観光知識の向上を図る。		

5-20

事業シート（概要説明書）				
担当課名		観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑬拠点づくりの推進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業		46 環境・景観づくり		
ビジョン掲載事業		花でようこそ環境・景観整備事業		
①事業概要		市民や企業、町内会などの市民団体との協働により、幹線道路に花を植える事業などの景観に配慮した取り組みを実施する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	700千円		
	平成22年度決算	700千円		
	平成23年度決算	700千円		
	平成24年度予算	700千円		
④事業の目的・成果		幹線道路に花を植栽することで地域を挙げて観光客等を歓迎し、十勝への印象を向上させリピーターの増加を図る。		
⑤事業の到達状況		とかち帯広空港からの幹線道路に花を植栽している。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		道東道インターチェンジからの幹線道路への事業拡充を検討する。		

5-21

事業シート（概要説明書）			
担当課名	観光課	担当者名	加藤
施策の基本方向	5集客・交流産業の振興		
基本施策	⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	
(番号)展開事業	47 シーニックバイウェイ推進		
ビジョン掲載事業	環境美化運動・幹線道路花植事業・お勧め観光スポットの情報発信		
①事業概要		シーニックバイウェイの取り組みの一環として、幹線ルートとなる沿線の四季折々のお勧め観光スポットに関する情報提供の発信を強化する。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算	40千円	
	平成23年度決算	40千円	
	平成24年度予算	40千円	
④事業の目的・成果		シーニックバイウェイのルートマップなど情報発信事業への支援を実施し、観光客の誘致を図る。	
⑤事業の到達状況		シーニックバイウェイイトカプチ雄大空間が公認ルートとなり、ルートマップの作成などの情報発信事業を支援している。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		十勝にはシーニックバイウェイが3ルートあることから効率的な情報発信事業の検討	

5-22

事業シート（概要説明書）				
担当課名		空港事務所	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		㊸ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㊹
(番号)展開事業		48 海外旅行客の受入れ歓迎体制の充実		
ビジョン掲載事業		旅行者へのアナウンス、外国語案内標記の充実		
①事業概要		海外旅行客に対して通訳を配置するとともに、案内標識等に外国語標記を加えることにより空港を利用する外国人の利便性向上を図る。		
②事業主体		とちぎ観光誘致空港利用推進協議会・帯広空港ターミナルビル(株)		
③市が支出している金額	平成21年度決算	1,076千円		
	平成22年度決算	1,190千円		
	平成23年度決算	854千円		
	平成24年度予算	1,012千円		
④事業の目的・成果		国際チャーター便などの就航に対応し、海外旅行者の利便性を向上させることにより、海外からの観光客の増加を図る。		
⑤事業の到達状況		海外からのチャーター便に際して通訳を配置し、出入国の手続きが円滑に行われるようにしている。空港ターミナルビル内の標記については、一定の標記を実施している。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		今後も空港ターミナルビル内の標記を充実させるとともに、国際チャーター便だけではなく、空港を利用する海外旅行客の受け入れ体制の充実を進めていく。		

5-23の1

事業シート（概要説明書）				
担当課名		空港事務所	担当者名	加藤
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		㊼ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	◎
(番号)展開事業		49 チャーター便の拡充と国際化の検討		
ビジョン掲載事業		チャーター便の拡充と情報収集		
①事業概要		十勝の魅力を台湾や中国などアジア諸国にPRし、国際チャーター便の就航促進を図るとともに、受け入れ体制の整備を進める。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	1,076千円（再掲5-22）		
	平成22年度決算	1,190千円（再掲5-22）		
	平成23年度決算	854千円（再掲5-22）		
	平成24年度予算	1,012千円（再掲5-22）		
④事業の目的・成果		十勝に海外からの観光客を誘致するため、国際チャーター便の拡充を推進するための情報収集を行い、就航促進を図る。		
⑤事業の到達状況		海外航空会社の日本支店等に情報収集を行いながら就航を要請するとともに、中国や台湾などにトップセールスによるプロモーションを実施し、チャーター便の拡充を進めている。 とかち帯広空港のホームページの英語バージョンを平成23年度に作成、平成24年度は中国語(繁体字)を作成し、情報発信を充実させる。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		今後も積極的なプロモーション活動や情報収集を実施し、チャーター便の拡充を図る。		

5-23の2

事業シート（概要説明書）			
担当課名		空港事務所	担当者名
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興	
基本施策		⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト
(番号)展開事業		㉔ チャーター便の拡充と国際化の検討	
ビジョン掲載事業		国際化の検討	
①事業概要		国際チャーター便の誘致を進め、地域経済を活性化させるために国際化に対応した空港のあり方を検討する。	
②事業主体		帯広市	
③市が支出している金額	平成21年度決算		
	平成22年度決算		
	平成23年度決算		
	平成24年度予算		
④事業の目的・成果		将来のとかち帯広空港の国際化に向けて検討を行う。	
⑤事業の到達状況		海外航空会社や海外観光客の動向を見据えながら、とかち帯広空港としての国際化をハード・ソフトの両面で検討している。	
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		海外観光客を増加させるための施策と連携しながら、とかち帯広空港にとってベストな検討を進めるが、海外の動向に柔軟に対応する必要がある。	

5-24の1

事業シート（概要説明書）				
担当課名		空港事務所	担当者名	中寺
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		㊼ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㊾
(番号)展開事業		50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業		東京線新規就航準備		
①事業概要		ダブルトラッキング化を実現するため、航空会社への支援策として着陸料の軽減幅を拡大し、積極的な利用促進活動を実施する。また、新規就航する航空会社等の車両、機器購入の補助も行う。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算			
	平成22年度決算	49,762千円		
	平成23年度決算	(東京便着陸料の拡大後軽減額 ¥98,704千円)		
	平成24年度予算	(東京便着陸料の拡大後軽減額 ¥106,761千円)		
④事業の目的・成果		航空会社に対して各種支援策を実施し、東京線のダブルトラッキング化を実現することを目的とする。		
⑤事業の到達状況		平成23年3月27日に北海道国際空港が新規に就航したことにより当初の目的は達成された。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		ダブルトラッキングを維持し、利便性を確保するために今後も継続して利用促進活動等を展開していく必要がある。		

5-24の2

事業シート（概要説明書）				
担当課名		空港事務所	担当者名	国枝
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㉑
(番号)展開事業		50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業		施設整備		
①事業概要		航空機の安全な運航を確保するために、滑走路や照明施設の改良や更新、補修等を実施する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	2,640千円		
	平成22年度決算	75,359千円		
	平成23年度決算			
	平成24年度予算			
④事業の目的・成果		老朽化した施設の更新や補修等を適切に実施し、航空機の安全運航を確保することを目的とする。		
⑤事業の到達状況		現在、整備に向けて検討中である。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		市の財政状況等を考慮し、可能な限り施設の延命化を図る視点で計画を見直す必要がある。		

5-25

事業シート（概要説明書）				
担当課名		空港事務所	担当者名	中寺
施策の基本方向		5集客・交流産業の振興		
基本施策		⑳ネットワーク化の促進	重点プロジェクト	㉑
（番号）展開事業		50 空港利用促進		
ビジョン掲載事業		航空路線の充実		
①事業概要		現在のとかち帯広空港の路線は東京線のみとなっていることから、可能性のあるあらゆる航空会社へ関西及び名古屋への路線復活に向けた要請活動や情報収集を実施する。		
②事業主体		帯広市		
③市が支出している金額	平成21年度決算	203千円		
	平成22年度決算	265千円		
	平成23年度決算	671千円		
	平成24年度予算	801千円		
④事業の目的・成果		関西線、名古屋線を復活させるなど路線の充実を図り、利用者の利便性を向上させることを目的とする。		
⑤事業の到達状況		平成21年に関西線、翌22年に名古屋線が運休になっているが、現在のところ路線復活には至っていない。		
⑥事業の目的を高めるために必要な方策、今後の展開に向けた視点		継続して航空会社へ要請活動を実施していく。		

平成24年度産業振興会議の進め方について(案)

1 ねらい

平成23年度に実施したビジョン掲載事業に関する評価及び議論を踏まえ、優先度の高い事項において早期に一定の成果を得ることができるよう、効率的・効果的な推進方策について検討し、その結果を提言としてまとめる。

2 テーマ例 ※以下から2テーマを選択

(1) テーマ1：中小企業経営基盤の強化

【論点例】商店街の活性化方策について

(2) テーマ2：産業人・担い手の育成

【論点例】地域経済の次代を担う人材育成について

(3) テーマ3：ものづくり産業の振興

【論点例】ものづくりの総合的な支援機能の充実について

(4) テーマ4：産業基盤の強化

【論点例】食料品製造業の集積方策について

(5) テーマ5：集客交流産業の振興

【論点例】観光インフォメーションの充実ととち帯広空港の利用促進について

3 検討方法

(1) 対象別に2つのグループを編成してグループ討議を行い、たたき台を作成する。

(2) たたき台について全委員で議論を行い、提言としてまとめる。

4 スケジュール

- 平成24年6月 今後の進め方の確認
- 7月 グループ討議（1回目、2回目）
- 9月 たたき台に関する議論（1回目、2回目）
- 平成25年1月 提言案の検討
- 2月 提言とりまとめ

5 その他

平成25年度においては、「施策の基本方向」を効率的・効果的に実現する視点から、ビジョン掲載事業の見直しを行い、事業の追加、改善、統合、削除等の整理を行う。